

和仏法律学校講義録

松井, 茂 / 小河, 滋二郎 / 寺尾, 亨 / 副島, 義一 / 秋山,
雅之介

(出版者 / Publisher)

和仏法律学校

(巻 / Volume)

3-20

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

53

(発行年 / Year)

1900-11-30

和佛法律學校

講義錄

第 三 部

第 貳 拾 號

憲

法 (自三一 至三六) 法學士 副島 義一

國際公法(戰時) (自三〇 至三四) 法學士 秋山 雅之介

國際公法 (自二九 至四八) 法學博士 寺尾 亨

警察法 (自一五 至三〇) 法學士 松井 茂

監獄學提要 (自一二 至一八) 小河 滋二郎



090
1900
3-1-20

アルヲ必要トセス執行ノ責任ヲ有スル者ハ上述ノ制限内ニ於テ自由ニ執行命令ヲ發スルコトヲ得ヘシ唯法律ニハ特ニ執行命令ヲ發スヘシトノ命令ヲ揭タルコトアリ然ルトキハ執行者ハ必ス其執行細則ヲ設ケサルヘカラサルナリ之ニ反シ斯ル法律ノ委任ナクシテハ其細則ヲ如何ニ設ケルヤハ執行者ノ自由ナリトス

執行命令ヲ以テ法規ヲ規定シ得ルヤハ少シク議論ノアル所タリ然レトモ法律ノ規定若シ汎博ニ過キ其儘ニテハ到底執行スヘカラサルトキハ執行ノ責ニ任スル者ハ執行命令ノ目的ノ許ス範圍内ニ於テハ法規ヲ規定シ得ヘシ又政府カ法律ヲ執行スルニ當リ法律ノ意義ヲ一定スルニアラサレハ各種ノ官府ノ間ニ法律執行ノ結果區區ナル恐アリ故ニ政府ハ法律ノ疑義ニ關シ下級官府ニ訓令スルコトヲ得ヘシ此ノ如キ訓令ハ行政ノ監督者トシテノ訓令ナルユヘ下級官府ヲ拘束スヘシ然レトモ此ノ如キ訓令ニ出テタル註釋ハ裁判官ヲ拘束スルモノニアラス裁判官ハ獨立シテ法律ヲ解釋スルヲ得ルナリ彼ノ司法權ノ獨立又ハ行政官ノ干渉ヲ受クスト云フハ此意義ニテ謂フナリ故ニ臣民ハ行政官ノ解

釋カ果シテ正當ナルヤ否ヤハ之ヲ裁判所ニ訴ヘテ判決ヲ請フヲ得ルナリ
執行命令ハ此ノ如ク法律ヲ執行スルノ目的ニ出ツルヲ以テ若シ其法律カ廢止
ニ歸シタル場合ニハ其執行命令モ亦其目的ノ消滅シタルカ爲メニ自ラ廢止ニ
歸スヘシ是レ執行命令ト委任命令ト異ナル所ナリ

第六節 獨立命令

從來立憲國ノ原則トシテ法規ハ法律ヲ以テノミ制定スヘク君主ノ命令權ハ其
監督スル行政官ニ對シテノミ效力アリ故ニ君主ハ法律ノ委任ニ依ルニアラザ
レハ一般人民ノ自由ヲ制限スル命令ヲ發スルヲ得スト爲セリ故ニ君主ハ獨立
シテ人ノ自由及ヒ權利ヲ制限スルヲ得ス唯行政官ニ對シテ訓令スルヲ得ルカ
然ラナレハ法律ノ委任ニ依リテ之ヲ發スルカ此二者ノ外獨立シテ命令權ヲ行
フコト能ハストセリ是レ佛蘭西及ヒ獨逸諸邦ノ憲法ノ法理トシテハ適當ナラ
シモ我憲法ノ解釋トシテハ少シク適セザル所アリ我憲法第九條ニハ天皇ハ公
共ノ安寧秩序ヲ保持セ及ヒ臣民ノ幸福ヲ増進スル爲メニ必要ナル命令ヲ發シ

又ハ發セシムト云ヘリ故ニ天皇ハ法律ノ委任ニ依ラス獨立シテ一般臣民ニ對
シ拘束力ヲ有スル命令ヲ發スルヲ得ヘシ故ニ之ヲ獨立命令ト名ク或ハ之ヲ法
規命令ト言フ者アレトモ委任命令等モ法規ヲ規定スルコトアルヲ以テ之ヲノ
ミ法規命令ト謂フコトヲ得ス固ヨリ之ヲ獨立命令ト云フモ未タ完全ナル名稱
ニアラス緊急命令ヲ發スルモ毫モ他ノ委任ニ依ルコトナキユヘ之ヲ獨立命令
ト謂フヲ得ヘシ然レトモ茲ニ謂フ獨立命令トハ唯法律ノ委任ニ依ル命令ニ對
シテ名ケタル通俗ノ稱呼ニ從ヒテ言フノミ或ハ之ヲ補充命令ト謂フコトアリ
是レ法律ノ不足ヲ補充スル場合ニ於テ發スルモノナレハナリ或ハ行政命令ト
謂フコトアリ是レ行政官ニ對スル命令ト云フ義ニアラスシテ行政ノ目的ノ爲
メニ殊ニ内務行政ノ目的ノ爲メニ發スルヲ以テナリ其何レノ名稱ニ從フモ其
意義ヲ審ニセシムハ他ト混同スル恐アリトス
獨立命令ヲ發スルニハ種種ノ制限アリ其一ハ即チ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及
ヒ臣民ノ幸福ヲ増進スル爲メニ必要ナルコト他ノ一ハ即チ法律ヲ變更スルヲ
得ナルコト是ナリ凡ソ國家ノ行爲ハ況ク之ヲ言ヘバ總テ安寧秩序ヲ保持シ又

ハ幸福ヲ増進スルノ目的ニ出テナルモノハナキナリ然レトモ憲法第九條ニ所謂安寧ノ保持又ハ幸福ノ増進ハ國務全體ノ總目的ヲ掲ゲタルニアラザルコトハ他ノ條ニ天皇ノ行政各部ノ官制制定權陸海軍編制權等ヲ特別ニ規定シタルヲ見テモ知ルヘシ故ニ安寧保持及ヒ幸福増進ハ國家政治中ノ一部分ノ行為ノ目的ト解セザルヘカラス又安寧ノ保持ト幸福ノ増進トハ亦之ヲ分テテ要セザルカ如ク見ユ何トナレハ安寧ヲ保持スルハ即チ幸福ヲ増進スル所以ト謂フヲ得ヘキヲ以テナリ然レトモ憲法カ明カニ此兩事ヲ區別シタル以上ハ亦各其區域ヲ異ニスルモノト解釋スルヲ至當トス此事ニ付テハ憲法義解ノ註釋其當ヲ得タルモノト謂ハザルヘカラス同義解ニ公共ノ安寧秩序ヲ保持ストアルハ警察ノ消極手段ヲ指シタルモノニテ臣民ノ幸福ヲ増進ストアルハ經濟及ヒ教育ノ方法ニ倚リ人民ノ生活及ヒ智識ヲ發達セシムル積極手段ヲ指スモノナリト此警察上ノ作用及ヒ經濟教育上ノ作用ハ內務行政ノ事務ニ屬スルモノナリトニ茲ニ所謂獨立命令ハ此內務行政ノ事務ニ關シテ之ヲ發スルヲ得ルモノトス故ニ彼ノ法律ノ未ダ先占セザル事項ニ付テハ總テ獨立命令ヲ發シ得ヘシト云フ

說ノ如キハ則チ此憲法ノ劃セル目的ヲ眼中ニ置カサルノ論ナリト謂ハサルヘカラスニ此等ノ事項ハ時ニ伴ヒ變動スヘク場所ニ隨ヒ差異ヲ立ツヘキモノ多ク法律ノ如キ常久ヲ期スルモノニテ規定スルハ能ク實際ノ利害ニ應ジテ其作用ヲ完ウスル能ハサルノ虞アルユヘ之ヲ命令ニテ規定スルコトヲ認メタルナリ獨立命令ヲ發スルニハ此外ニ尙ホ制限アリ即チ憲法中ニ法律ヲ以テ規定スヘキコトヲ定メタルコトハ縱令公共ノ安寧秩序ノ保持幸福増進ノ目的ノ爲メナルモ獨立命令ヲ以テ之ヲ規定スルヲ得サルナリ蓋シ憲法中ニ法律ヲ以テ云云ト規定シ命令權ノ範圍ニ制限ヲ加ヘタルヲ以テナリ

第七節 委任命令

凡ソ法律ヲ制定スルニハ必ス議會ノ協賛ヲ經サルヘカラザルユヘ其手續甚タ繁雜ナルヲ以テ國家常久ノ制度ニシテ且ツ國民一般ノ遵奉スヘキ制度ヲ立ツルニハ法律ヲ以テスルヲ適當ト爲セトモ時ト場所トノ狀態ニ從ヒ其規定ヲ異

ニスヘキモノハ法律ヲ以テ之ヲ規定スルハ甚ク不便タルヲ免ルニ斯ル場合ニハ法律ハ其規定ヲ命令ニ讓ルコトアリ斯ク法律カ或事項ニ關スルコトヲ命令ヲ以テ規定シ得ヘキコトヲ規定シタル場合ニ其法律ニ從ヒ命令ヲ發シタルトキハ之ヲ委任命令ト曰フ茲ニ委任ト謂フハ民法上ノ所謂委任トハ其意義ヲ異ニスルナリ民法上ニテ委任ト云ヘハ權利者カ其權利執行ヲ他ノ人格ニ委任スルノ謂ナレトモ茲ニ謂フ委任トハ立法機關カ其權限ヲ他ニ委任シテ或事項ニ關スルコトヲ命令ヲ以テ規定スルコトヲ定ムルヲ謂フナリ

憲法中或事項ニ關スルコトハ法律ヲ以テ規定スヘキコトヲ規定セリ今之ヲ命令ニ委任スルトキハ違憲ナルニ似タリ然レトモ委任命令ハ各國ノ實例ニ於テモ學說ニ於テモ等シク認ムル所ナリ唯リ普國國法學者レシネー氏ハ委任命令ヲ發スルカ如キハ憲法違反ナリトセリ

「レシネー」氏ノ說ニ曰ク凡ソ立法權ハ君主ト議會ト共同ニテ之ヲ行フヘキモノナルコト憲法ノ規定スル所ナリ議會カ立法ニ協賛スルハ唯リ其權利ナルニミナラス又一ノ義務ナリ故ニ議會ハ協賛權ヲ拋棄スルコトヲ得ス隨テ若シ憲

法上ノ立法事項ニ付キ議會ノ協賛ヲ經スシテ命令ヲ發スルコトヲ得ルト規定スル如キアラハ是レ協賛權ノ拋棄ヲ規定スルモノナルヲ以テ此ノ如キ法律ハ憲法ニ違反スルモノナリト此說ニハ「ラバソド」^{ラバソド}「ザイデル」^{ザイデル}「エリネック」^{エリネック}「マイエル」^{マイエル}等ノ諸大家ノ皆反對スル所ナリ蓋シ法律カ其憲法上ノ事項ノ規定ヲ命令ニ讓ルハ其協賛權ヲ拋棄スルニアラスシテ憲法上ノ立法事項ニ付キ如何ノ方法ニ依リテ其事項ヲ規定スヘキヤヲ定ムルモノナリ而シテ議會ハ其命令ノ規定ニ依ルヘキコトニ協賛ヲ爲シタルナリ故ニ此場合ニ議會ハ其協賛權ヲ拋棄シタルニアラサルナリ憲法ハ立法事項ニ付キ君主ノ當然其命令權ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ許スモノニアラスト雖モ而モ之ヲ命令ニ定ムルヲ徹頭徹尾禁止スルニアラサルナリ憲法ハ立法權カ憲法上ノ立法事項ヲ規定スルニハ如何ノ形式ヲ以テ作用セザルヘカラストノ規定ハ之ヲ設クレトモ其法律ノ實質ハ如何ナルヘキヤニ付キ一ノ制限ヲ加ヘタルコトナシ故ニ法律ハ直接ニ其詳細ノ規定ヲ設タル代リニ如何ニシテ此規定ヲ爲スヘキヤノ方法ヲ定ムルコトヲ得ルナリ此ノ如キ規定ヲ設タルハ決シテ我憲法ニ抵觸スルニモアラス又憲法ヲ

變更スルニモアラザルナリ
又アルントハ獨逸帝國命令論ニ於テ憲法ニ法律ヲ以テアルハ委任ヲ許サザルノ精神ニシテ法律ノ定ムル所ニ依リテアルハ命令ニ委任スルヲ許スノ精神ナリト曰ヘリ我國ニモ此說ヲ採ル者アリ然レトモ我憲法ニ於テモ獨逸憲法ニ於テモ以テ定ムル所ニ依ルト云フニ由リ此ノ如キ區別ヲ認メタルモノト謂フヲ得サルナリ憲法第十四條ニ戒嚴ノ要件及效力ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムトアリ又第十八條ニハ日本臣民タルノ要件ハ法律ノ定ムル所ニ依ルトアリ今此兩條ニ於テ甲ハ委任命令ヲ許サス乙ハ之ヲ許ストハ何ニ據リテ之ヲ推論シ得ルカ全ク理由ナキ說ト謂ハサルヘカラス
法律カ其規定ヲ命令ニ委任スル事項ノ範圍ト實質ハ豫メ之ヲ一定スルヲ得ス或ハ或事件ノ爲メニ命令ヲ發布ノミヲ委任シテ其廢止ハ之ヲ委任セザルヲ得ヘク又或時期ヲ限リテ委任スルコトアリ得ヘシ其他種種アルヘシ
執行命令ト委任命令ト異ナル所ハ執行命令ハ各箇ノ法律ニ基キテ生スルモノニアラス然レトモ其一タヒ存在シタル以上ハ其本法律ニ附著スルモノナリ之

ニ反シ委任命令ハ特別ノ法律ニ基キテ生スルモ其存在ハ法律ノ存在トハ關係ナキモノナリ法律ノ消滅ト共ニ各機關ニ與タル命令發布ノ權ハ未來ニ消滅スト雖モ既ニ發シタル拘束力ヲ有スル命令ハ之ニ由リテ影響ヲ受クルコトナシ此命令ノ消滅ニハ特別反對ノ行為ヲ要スルニ在リ尙ホ執行命令ト委任命令ト異ナル所ハ執行命令ハ憲法ニ基キテ生スルモノナレトモ委任命令ハ特別ノ法律ニ基キテ生スルコト是ナリトス

第二章 豫算

第一節 豫算ノ性質

豫算ハ國家歳入歳出ヲ豫メ計算シテ財源支出ノ標準ヲ規定シタルモノナリ此豫算ヲ制定スルニハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ君主之ヲ定ムルナリ或ハ說ヲ爲シテ曰ク我憲法第六十四條ニハ國家ノ歳入歳出ハ豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシトアリテ豫算ハ法律ヲ以テ定ムヘシト言ハス故ニ議會ハ豫算ニ協賛スルニアラスシテ豫算ニ依リ歳入歳出ニ協賛スルナリ豫算ハ歳入歳出ニ對シテ

協賛スル所以ノ具タルニ過キサルナリト此說ハ國法上ノ豫算ト豫算案トヲ混セシムルアラサルヤヲ疑ハサルヲ得ス論者ノ說ニ從ハハ豫算ハ議會ノ協賛ヲ爲ス具タルニ過キサルニハ議會ノ協賛ナキ前ニ既ニ豫算ナルモノノ存セルト爲スニ似タリ即チ政府カ議會ノ協賛ヲ經ル爲メニ提出スル議案ヲ豫算ト爲スニ似タリ然レトモ議會ノ協賛ナキ前ニ眞ノ豫算ナルモノ成立スルコトナレ憲法第六十四條ニ豫算ヲ以テ協賛ヲ經ヘシトアル所謂豫算ナルモノハ豫算案ノ義ト解セサルヘカラス然ラズンハ憲法上ノ說明ハ之ヲ爲スヲ得サルニ至ルヘシ政府ノ提出スル議案モ之ヲ豫算トシ又議會ノ協賛ヲ經タルモノモ之ヲ豫算トシ又天皇ノ裁可公布シタルモノモ之ヲ豫算トシテ少シモ其間ニ區別スルコトナクシハ例ヘハ第七十一條ニ豫算不成立ノ場合ニ前年度ノ豫算ヲ施行スヘシトアルハ果シテ何レノ豫算ヲ指スモノナルヤ之ヲ知ルヘカラサルニ至ルヘシ故ニ憲法第六十四條及ヒ第六十五條ニ單ニ豫算トアルハ豫算案ノ義ト解スヘシ議院法第四十條ニ政府ヨリ豫算案ヲ提出シタルトキハ云トアリ亦以テ立法者ノ意思ヲ推測スルニ足ル又單ニ議會ノ協賛ヲ經タルモノノミニテハ未タ

國法上確定ノ豫算ト謂フヲ得サルナリ又論者ハ我憲法ニ謂フ所ノ豫算ハ豫算ノ國務大臣ノ責任ヲ免除スルモノナルヲ以テ議會ノ同意ヲ得ルヲ以テ足レリ若シ然ラズンハ憲法第六十七條ニ或種類ノ費目ハ政府ノ同意ナクシテ之ヲ廢除削減スルコトヲ得タル旨ヲ規定セル理由ヲ知ルコト能ハス何トナレハ若シ豫算ノ全部ニシテ裁可ナクシテ成立セストセハ特ニ或一部ノ歳出ニ付テノミ政府ノ同意ヲ要スルコトヲ規定スルノ必要ナケレハナリ故ニ此等ノ點ヨリ考フレハ豫算ニハ裁可ヲ要セズ隨テ又豫算ハ行政官廳ニ對シテ遵由ノ效力ヲ生スルモノニアラスト曰ヘリ

此說ハ憲法第六十七條ニ謂フ政府ノ同意ヲ天皇ノ裁可ト同視シタルノ論ナリトス然レトモ憲法上政府トアルハ直チニ天皇ヲ包含セテ指シタルモノナルカ是レ先ツ疑問タリ憲法第四十條ニ兩議院ハ其意見ヲ政府ニ建議スルコトヲ得トアリ而シテ其第四十九條ニ兩議院ハ各天皇ニ上奏スルコトヲ得トアリ今若シ政府ト天皇トヲ全ク同一ノモノト視ハ何故ニ一ハ建議ト云ヒ一ハ上奏ト云ヒテ之ヲ區別シタルカ又憲法第三十八條ニ政府ハ法律案ヲ提出スルヲ得トア

リ而シテ其第七十三條ニハ憲法條項改正案ハ勅令ヲ以テ提出ストアリ天皇ト政府ト同一ナラハ何故ニ此區別ヲ爲シタルヤヲ知ルヲ得サルヘシ故ニ憲法第六十七條ニ政府ノ同意云云トアルハ天皇ノ裁可ト視ルヘカラス單ニ政府一箇ノ意見ニ依ルノ同意ト視サルヘカラス故ニ之ノミニテハ未タ豫算全體ニ裁可ヲ要セスト論決スルヲ得サルナリ且ツ帝國議會ハ行政官廳及ヒ臣民ニ命令スル能ハサルモノユヘ議會ノ議決シタル豫算ハ未タ理由ノ效力ヲ生セサルコトハ固ヨリ論ナシ議會ノ議決シタル豫算ハ尙ホ豫算案タルノミナリ然レトモ憲法第七十一條ニ本年度ノ豫算不成立ノ場合ニハ前年度ノ豫算ヲ施行スヘシトアリ然ラハ若シ本年度ノ豫算成立ノ場合ニハ則チ之ヲ施行スヘキコト論ナキナリ此施行スヘキ豫算ハ單ニ議會ノ協賛ヲ經タルモノナルカ又ハ天皇ノ裁可シタルモノナルカ議會ハ行政官廳ニ命令スルヲ得サルユヘ無論天皇ノ裁可シタル豫算ニアラサレハ行政官廳ニ施行スルノ義務ヲ生セサルヘシ然ラハ則チ國法上眞ノ豫算ナルモノハ天皇ノ裁可シタルモノナラサルヘカラス又天皇カ豫算ヲ裁可スルニハ必スシモ議會ノ協賛ヲ經タルモノニ依ラサルモ可ナリト

云フ者アレトモ憲法第六十四條ニハ「國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシトアリ故ニ國家ノ歳入歳出ハ必ス議會ノ協賛ヲ經サルヘカラス而シテ此議會ノ協賛ヲ經タル歳入歳出ハ即チ議會ノ協賛シタル豫算案ニ外ナラス且ツ凡テ議案ハ之ヲ上奏スヘキコト議院法第三十一條ノ規定スル所ナルヲ以テ天皇ハ此議會ノ協賛シタル豫算案ニ載スル歳入歳出ヲ除キテ他ニ裁可スヘキノ議案ヲ有スルコトナキナリ」故ニ豫算ハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ天皇ノ裁可シタル行政官廳ニ對スル財政上ノ命令ナリト謂フヲ得ヘシ夫レ形式上法律トハ帝國議會ノ協賛ヲ以テ天皇ノ發シタル國家ノ意思ナルコト前既ニ述ヘタル所ノ如シ然ラハ則チ豫算モ亦其形式上ヨリスレハ之ヲ法律ト謂フモ決シテ不可ナキナリ縱令豫算ヲ發布スルニハ豫算法律若クハ豫算法トシテ發布スルコトナク單ニ豫算トシテ發布スルモ是レ決シテ豫算ノ法律タルニ害ナキナリ何トナレハ法律ト云フモ單ニ法律トシテ發布サレタルカ爲メニ法律タルニアラスシテ一定ノ條件ヲ具備スルニアラサレハ憲法上形式的ノ法律ト謂フヲ得ス豫算ト雖モ形式上ノ法律ト同一

ノ條件ヲ以テ生スレハ則チ之ヲ法律ト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ豫算ハ法律ナリ故ニ天皇カ豫算ヲ裁可スルハ即チ法律案ヲ裁可スルナリ議會カ之ニ協賛スルハ即チ形式上ノ立法作用ニ協賛スルナリ

或ハ曰ク形式上ノ法律ハ法律トシテ協賛シ裁可シ公布シタルモノニアラザレハ之ヲ法律ト謂フヲ得ス豫算ノ如キハ豫算トシテ協賛シ裁可シ公布シタルモノナルニハ之ヲ法律ト爲スヲ得スト然レトモ是レ法律トハ果シテ如何ナルモノナルヤヲ知ルコトヲ得タル後ニアラスンハ此區別ヲ立ツルヲ得サルヘシ唯外形ニ表ハレタル用語ノ異ナル所ニ據リテハ其性質ヲ知ルヲ得サルナリ若シ外形的用語ニ據リテ區別セントスルトキハ甚タ不都合ヲ生スルコトアリ例ヘハ明治二十九年三月二十九日發布ノ事業公債條例ノ如キ事業公債條例トシテ協賛シ裁可シ公布セラレタリ故ニ此條例ハ法律ニアラサル一種ノ條例ナル法ト爲ササルヘカラサルヘシ然レトモ何人モ此事業公債條例ヲ法律トシテ疑フ者ナカルヘシ何トナレハ法律タルヘキ要件ヲ具備スルヲ以テ其用語ノ異同ハ之ヲ問フヲ須ヒサルヲ以テナリ

豫算ハ其外形上ヨリ言ヘハ形式上ノ法律ナリ其實質上ヨリ言ヘハ天皇ノ行政各機關ニ對スル財政上ノ處分令ナリトス尙ホ豫算ノ性質ニ關スル獨逸國法學者ノ一二ノ說ヲ列舉シテ研究ノ資ニ供セント欲ス

第一說ハ「グナイスト」(ラバンド)等ノ唱フル說ニシテ最モ廣ク行ハル所タリ其說ノ大要ニ曰ク凡ソ立憲國タルト專制國タルトヲ問ハス一國經濟ノ收入ト支出ト豫メ比較對照シテ財政上ノ計畫ヲ爲スハ財政整理ノ必要條件トスル所ナリ憲法ニハ經合豫算ハ法律ヲ以テ定ムヘキコトヲ規定セルモ是レ形式的ノ法律ニシテ實質的ノ法律ニアラス實質上ヨリスレハ豫算ハ法規ヲ定ムルモノニアラス單ニ財政ノ計畫ニ過キスシテ唯行政官ニ對スルノ命令ナリ故ニ豫算ヲ定ムルハ立法ニアラスシテ行政行為ナリ隨テ豫算ヲ定ムルニハ法規ノ範圍内ニ於テセザルヘカラス法律上必要ノ費用ハ之ヲ削除スルヲ得サルナリ議會カ此行政行為ニ協賛スルハ唯豫メ政府ノ責任ヲ免レシムルニ過キス故ニ豫算不成立ノ場合ニハ政府ハ固ヨリ法令ニ依リ收入支出ヲ爲ササルヘカラサルモ唯不成立ノ結果ハ後日議會ニ對シ其支出ノ必要ナリシコトヲ證明スルノ責ヲ

負フニ止マルナリ云云 第二說ハ「ウォルン」ノ首唱スル所ニ係ル其說ノ大要ニ曰ク豫算ハ純然タル法律ニシテ國家ノ收入支出ノ基礎タリ故ニ租稅ヲ徵收スルモ豫算ノ規定アルニ由ルナリ豫算ノ規定ナクハ租稅ヲ得ス又行政官廳ハ國庫金ヲ支出スルヲ得ス若シ豫算成立セザルトキハ國家ノ經濟ハ總テ中止セザルヘカラス縱令法令ヲ以テ國家ノ收入支出ヲ規定スルモ後法ハ前法ヲ變更シ得ルヲ以テ豫算ハ此等ノ法令ヲ變更スルヲ得此等ノ法令ハ豫算ノ成立ヲ條件トシテ效力ヲ有スルニ過キスト

第三說ハ「レニチー」ヲ唱フル所タリ其大要ニ曰ク豫算ハ國家ノ歳入歳出ノ基礎ニアラス國家ト一箇人トノ關係ハ法律ニ依リテ定マリ豫算ニ依リテ定マラス人民ノ納稅ノ義務ハ豫算ノ有無ニ拘ラス國家ハ之ヲ徵收スルヲ得ヘシ又國家ノ歳出ハ豫算ナキヲ口實トシテ一箇人ニ對シテ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス國庫ニ對スル請求權ハ豫算ニ依リテ影響ヲ受クルモノニアラス故ニ豫算ヲ以テ歳出入ノ基礎ト爲スハ不可ナリ豫算ハ人民ニ對シテ法律ノ效力ナシ然レトモ豫算ハ

然レトモ此事件ヲ審ニ研究スルトキハ其判決ハ正當ナレトモ理由ハ完全ナルモノト謂フコト能ハス何トナレハ此事件タル英國軍艦ノ意思如何ナリシヤニ拘ラス兵力爭鬪ハ米國船ニ因リテ開始サレタルコト疑ナキヲ以テ英米船舶共ニ葡國ノ中立權ヲ侵害シタルモノトス而シテ其不法行為ノ結果タル損害ヲ葡國ニ對シ賠償ヲ求ムル能ハサルハ論ナキ所ナリ然ルニ判決ノ理由ニ云ヘル如ク單ニ敵國ヲ攻撃シタル事實アルノミニテハ必スシモ中立國ハ之ニ保護ヲ爲スヘキ義務ヲ免ルル能ハスシテ若シ交戰國一方ノ船舶ニシテ中立國領海ニ於テ敵國軍艦ノ攻撃ヲ受ケタルトキ自衛上之ニ抵抗スルハ決シテ中立國ノ主權ヲ侵犯スルノ犯意ナキニ由リ之ヲ不法ト爲ス能ハサルモノナルヲ以テナリ故ニ交戰國船舶ハ中立國版圖内ニ於テ敵國ノ攻撃ヲ受ケタルトキハ固ヨリ中立國政府ニ其保護ヲ依頼スヘク而シテ中立國ノ之ニ應スルノ意思ナキカ若クハ其保護ヲ與フルノ力ナキニ於テハ自衛上ノ行動ヲ爲シ得ヘキモノトス 交戰國一方ニ對スル戰爭行為ヲ爲スノ準備ヲ中立國版圖内ニ於テ防止スヘキ義務ニ付テハ中立國ハ戰爭ニ使用ノ目的ヲ有スル船舶及ヒ器具等ヲ其版圖内

ニ於テ製造シテ自國ヨリ出ツル者ヲ絕對的ニ禁止スヘキ義務アリト云フニ非
 ス固ヨリ此等ノ物件ハ戰時禁制品ナルヲ以テ交戦國ハ其敵國ニ入ラントスル
 トキ之ヲ捕獲沒收シ得ヘキモノナレトモ中立國ハ其出港ニ關シ何タル義務ヲ
 有スルモノニ非ス然レトモ軍艦其他ニシテ現ニ行ハレツツアル戰爭ニ使用サ
 ルルノ目的ナルトキハ其出港ヲ防止スヘク中立國ノ怠慢又ハ不公平ヨリシテ
 其出帆ヲ爲スニ至リタルトキハ其結果ニ付キ責任ヲ免ルルコト能ハス然レト
 モ此道理ヲ實際ニ適用スルニ當リテハ最モ困難ヲ極メ千八百六十三年英國法
 廷ハアレキサンドロ事件ニ於テ判決シタル所ニ依リテ觀ルモ第十九世紀ノ半
 頃マテハ同國ノ意見トシテ戰爭國ニ適シタル船舶ノ中立國領海ヲ出ツルヤ否ヤ
 職闘行爲ヲ爲シ得ヘキ狀態ニテ出帆スルニ非サレハ中立國ハ之ヲ防止スヘキ
 義務ナキコトト爲シタルニ既ニ説明セタルカ如クアラバマ事件ニ由リ此意見
 ハ中立國ノ義務如何ヲ區別スルニ當リ不完全ナルコト明カナルニ至リ又米國
 ニ於テハ船舶ノ戰爭行爲ニ用ヒラルヘキモノト證據ニ依リ認メ得ヘキトキハ
 中立國ハ其出帆ヲ防止スヘキモノトシ此點ニ關シテアラバマ判決並ニ華盛頓

條約ニ就キ議論ノ絶エサル所ニシテ此問題ハ國際公法上未完ノ地位ニ在ルモ
 ノトス隨テ各國ハ今日此點ニ付テハ任意ニ之ヲ定メ米國法廷ノ意見ニ依ルト
 キハ軍艦兵器ヲ賣買スルノ意思ニテ中立國ヲ出帆スルハ禁セサル所トシ職闘行
 爲ヲ爲スノ意思ヲ以テノ出港ハ中立國ニ於テ禁止スヘキモノトセリ即チ同國
 法學者ダナハ之ヲ審ニ説明シテ曰ク中立國版圖内ニ於テ戰時禁制品ヲ製造シ
 捕獲ノ危險ヲ冒シテ交戦國ノ市場ニ出スハ不法ニ非スシテ交戦國ノ之ヲ捕獲
 シ得ヘキ權利アルニ過キス然レトモ交戦國一方ニ戰爭上直接ノ妨害ヲ爲ス貨
 ノ又ハ妨害セントスル結果ノ目的ヲ以テ出帆スルハ中立國ニ於テ禁止スヘキ
 義務ヲ有ストセリ此米國ノ意見ニ據ルトキハ同一物件ノ出港ニ際シ其意思如
 何ヲ識別スルノ困難アリ加フルニ其物件ヲ賣却スルノ意思ト職闘ニ使用スル
 ノ意思ト混同シ居ルコト跡カラス此點ニ付テハ千八百三十二年タインシー事
 件ニ於テ米國法廷ハ戰爭行爲ヲ爲スヘキ事實上確定シタル意思ト未確定又ハ
 條件附ノ意思トヲ區別セタインシー氏ノ所有艦ボリパー艦ノ米國ニ於テ製造
 タレ西印度島ニ航海シ同島ニ於テアラビル王ノ爲メ戰爭行爲ヲ爲スノ材料ヲ

得ントシ米國ヲ出帆セントシタルハ其船舶ノ戰爭行為ヲ爲スニ關シテハ條件附ノモノナルニ由リ無罪ノ判決ヲ下セリ但シ米國ノ如ク賣買ノ意思ト戰爭ノ意思トヲ區別シテ以テ中立國ノ義務ヲ判定スレハ最も困難ニシテ實際行フヘカラナルコトアルニ因リ「ホール」ハ自己ノ意見トシテ船舶ノ構造上主トシテ戰闘ノ用ヲ爲スヘキモノハ其出帆ヲ禁シ之ニ反シテ主トシテ商業用ニ適スルモノハ戰爭中交戰國ニ引渡ヲ爲スモ妨ケナシトスルヲ以テ國際公法ノ法則ト爲ナンコトヲ希望セリ然レトモ此說タル意思如何ヲ區別スルノ困難ナキト同時ニ商船トシテ引渡シタル船舶ノ軍艦其他ニ轉用セラルヘキ弊害ヲ免レス要スルニ此點ニ付テハ確定シタル法則ナリ「ホール」ノ說モ一箇ノ私見トシテ見ルヘキナリ

第四章 交戰國ノ中立國人民ニ對スル權利

第一節 總 則

國際公法ノ果シテ法律ナリヤ否ヤニ付テハ議論ノ存スル所ニシテ其法則ニ違

反スル者アル場合ニ於テ制裁力ノ存セタルハ之ヲ法律ト爲スヘカラストスル主ナル論據ト爲ルモノトス然レトモ國際公法ノ法則中ニ付キ此論據ノ例外ト爲リ法則違反ノ場合ニ制裁ノ現存スルモノアリ即チ本章ニ論スヘキ凡テ戰爭ニ於テ中立國人民ノ行為ヲ拘束スヘキ交戰國ノ權利ニシテ海上ニ於テ中立國箇人ニシテ交戰國間ニ於ケル戰爭ノ權利ヲ侵害スルトキハ交戰國ハ之ヲ逮捕シ自ラ處罰ヲ爲シ得ヘク中立國モ之ニ對シテ故障ヲ唱フルコト能ハタルモノトス而シテ交戰國ノ斯ル行為ヲ處罰スルニ付テハ國際公法ノ法則ニ由リ捕獲審檢所ノ裁判ヲ以テシ中立國ト交戰國トノ間ニ於テハ之カ爲メ直チニ外交上ノ問題ヲ惹起スコトナク單ニ交戰國ニ於テ其裁判不當ナル場合ニ際シ之ニ對シテノミ中立國ハ賠償ヲ請求シ得ヘキニ過キス元來國際公法ハ國家ト國家トノ權利義務ノ關係ヲ定メタル法則ニシテ國家ト箇人トノ權利義務ヲ論スルニ非サルヲ通則トシ國際公法上ノ主體ハ管ニ國家又ハ交戰團體ナルニ拘ラス何故ニ本章ニ於ケル交戰國ノ中立國箇人ニ對スル法則ヲ國際公法中ニ於テ論スルヤト云ハハ戰時禁制品封港等ニ關シテ交戰國ノ中立國箇人ニ對スル權利ハ

是レ素ト戰爭ナル國家間ノ關係ニ附隨スル權利ニシテ古來列國ノ承認ニ出テ
列國ハ明示又ハ默示ノ同意ヲ以テ國際公法上ノ法則ト認メ公海ニ於テハ船舶
並ニ人民ノ行爲ハ其本國ニ於テ審理裁判スヘキモノナルニ拘ラス列國ノ合意
ニ因リ其戰爭ニ關スル一定ノ行爲ハ之ヲ各自國ニ於テ審理裁判セシテ交戰
國ノ審理裁判ニ一任シタルニ基クモノトス

第二節 中立國人民ノ普通商業

第一款 中立國人民ノ財産

交戰國領内ニ於ケル中立國人民ノ財産ハ戰爭ノ普通ノ原則ニ由リ支配セラレ
ヘキモノナレトモ海上ニ於ケル中立國人民ノ商業ニ付テハ中立國財産ノ敵國
船舶ニ在ルコトアリ敵國財産ノ中立國船舶ニ在ルコトアリテ交戰國ノ利害關
係ト中立國ノ利害關係トハ斯ル船舶並ニ搭載品ノ取扱ニ付キ尤モ錯雜ヲ極メ
往往其利害ノ低昂シ居ルヲ以テ中立國ノ利益ヲ侵害スルコトナクシテ敵國人
及ヒ其財産ヲ攻撃スルコト最モ困難トス茲ニ中立國人民ノ普通商業ト云フハ

中立國私人ノ船舶及ヒ其搭載品等ニシテ其船舶ノ使用ハ戰時國際公法ノ法則
上禁制スヘキモノナラサルトキ又其貨物ハ之ヲ搭載スル船舶ノ戰爭行爲ニ何
タル關係ヲ有セス又其船舶若クハ貨物ハ其到達地ニ付キ禁制サレ居ラサル商
業ヲ意味スルモノニシテ中古以來コンソラトール、マル、法典ニ於テハ交戰
國ハ凡テ海上ニ於ケル物品所有者ノ敵人ト否トニ據リテ之ヲ捕獲スヘキモノ
ト否トヲ定メタルモノニシテ敵國ノ物品ハ中立國船舶ニ搭載スルトキト雖モ
之ヲ捕獲シ其船舶ヲシテ敵物ヲ自國ニ取り安全ナル場所ニ運搬セシメテ之ヲ
取得シ船長ハ物品所有者ト其運搬ニ付キ約定シタル運賃ヲ受取り之ニ反シテ
中立國ノ物品ハ敵國船舶中ニ在ルトキモ捕獲セララルコトナク單ニ物品所有
者ニ於テ其船舶ヲ賠償シテ航海ヲ繼續スルヲ得ヘク若シ其船舶ノ賠償ヲ爲テ
ナルトキハ捕獲者ハ其船舶ヲ自國ニ送致セテ之ヲ取得シ貨物所有者ハ其船舶
所有者ニ拂フヘキ運賃ヲ捕獲者ニ拂フヘキモノトセリ而シテ若シ此場合ニ於
テ貨物所有者ハ船舶賠償ニ付テ捕獲者ニ對シ満足スヘキ協商ヲ爲サントスル
ニ拿捕者ニシテ之ヲ拒ムトキハ貨物所有者ハ捕獲者ニ對シ損害ノ賠償ヲ求メ

得ヘク又貨物ノ運賃ヲ捕獲者ニ支拂フノ義務ナクセリ此法則ハ宗教改革ノ
頭ヨリシテ歐洲一般ニ行ハレ文明ノ進歩ト共ニ商業ノ隆盛ニ赴キタルニ隨ヒ
拿捕シタル船舶其他財産ヲ交戰國ハ裁判シテ其捕獲スヘキモノト否トヲ審理
スル爲メ捕獲審檢所ヲ設ケルノ義務ヲ諸國一般ニ認メ敵物ノ中立國船舶中ニ
在ルトキハ船舶ヲ解放シテ敵物ノミヲ沒收シ其船舶所有者ハ其物品ノ運賃ヲ
受ケ之ニ反シテ敵船ヲ捕獲シタルトキハ之ニ搭載ノ中立國財産ヲ解放スルノ
法則ハ「グロシユース」ニ「ペンケル」ヨリ「ト」及ヒ「バタル」ヲ始メ第十八世紀ノ中頃
ニ至ルマテノ學者ハ之ヲ唱道シ英國ノ如キモ千八百五十六年ニ至ルマテ此法
則ニ準據セリ

斯ク物品所有者ノ敵人ト否トノミニ由リテ捕獲ト否トヲ決スルノ法則ハ商業
ノ發達スルニ隨ヒ中立國ノ商業ニ對シ戰爭妨害ヲ減スルノ主旨ヨリシテ變例
ヲ生シ單ニ船舶所有者ノ敵人ト否トニ由リテ其搭載品ノ敵物ト否トニ拘ラ
ス之カ捕獲ト否トヲ定ムヘキ所謂自由船自由物、敵船敵物ノ法則ハ第十七世
紀中和蘭國ニ於テ主唱セシ所ナリ此法則タル固ヨリ當時國際公法ト爲スヘカ

ラテリシヲ以テ列國ノ其利益ヲ得ントセハ條約ヲ以テ之ヲ約定スヘキコトト
看做サレ千六百五十一年乃至千八百一年ノ間ニ於テ諸國ハ此規定ヲ條約ヲ以
テ定メタルモノ多ク又此新法則ト「コンソラト」コンソラト、デルマール、ベルギーノ原則ヲ合併シ
混同シテ大陸學者中ニ於テハ敵船ニ於ケル中立國ノ貨物ヲ自由トシ中立國船
船中ニ於ケル敵物ヲモ自由ナリト主張シタル者アリ之ニ正反對ニテ佛國ノ如
キハ第十六世紀及ヒ第十七世紀ニ於テ時トシテハ敵船ニ於ケル中立國ノ財產
竝ニ中立國船舶ニ於ケル敵物ヲモ捕獲沒取シ甚シキニ至リテハ佛國ルネ千
四世ヲ始トシ佛國ハ千六百八十年以後西班牙國ハ千七百四年以後千七百四十
四年ニ至ルマテ敵物搭載ノ中立國船舶ヲモ其敵物ノ搭載ノ故ヲ以テ沒收シタ
ルコト少カラス斯ク海上捕獲ニ關シテ國際公法上一定ノ法則確定シ居ラザリ
シカ爲メ其後諸國ハ各任意ニ之ヲ處置シ其捕獲沒取ヲ國ニ由リテ異ニシ來リ
タルコトナルカ千八百五十四年英佛兩國ハ露國ニ對スルタリミヤ戰爭中ニ於
テ中立國ノ船舶ニ搭載ノ敵物竝ニ敵國船舶中ニ在ル中立國物品ヲ沒取セザル
コトト爲シ此時ヨリシテ海上捕獲ニ關シテ中世ノ法則ト近世諸國ノ實例ト入

間ニ折衷ヲ見ルニ至リ自由船自由物ノ原則ヲ適用スルト同時ニ敵船敵物ノ道理ヲ採用セシテ敵船中ノ物品ニ關シテハコンソラトードル、モーゾノ古法則ヲ適用シ其結果トシテ中立國商業ニ最も重大ナル原則ヲ巴里宣言ニ由リテ設定スルニ至レリ然レトモ此現行法則タル「タリミヤ」戰爭ニ於テ發明シタルニ非スシテ千七百五十二年シレシア「負債事件」ニ於テ普國ハ英國ニ對シテ其道理ヲ國際公法ノ法則ト主張シタレトモ普國ハ英國政府ノ議論ニ壓セラレ又捕獲ニ關シテ巴里宣言ノ主義ヲ千七百八十二年所謂第一武裝中立及ヒ千八百年第二武裝中立ノ同盟國ノ主張シタル所タリ然ルニ露國カザリシニ二世ノ唱道ニ係ル第一武裝中立ノ宣言ハ千七百八十三年英米兩國ノ講和條約ニ於テ其實效ナキニ至リ第二武裝中立ニ於ケル同一ノ宣言ハ其主張者タル露帝ボールム一世ノ勸御ト共ニ其勢力ヲ失ヒ之ト同時ニ此主義ニ反對セル英國政府ニ於テ中世ノ法則ヲ墨守シ嚴正ナル態度ヲ盡クシタルカ爲メ數箇月ノ後ニ實行ナキニ至リ其後海上捕獲ニ關シテ諸國ノ態度一定シタル所ナカリシカ「タリミヤ」戰爭ニ於テ英佛兩國ノ此點ニ付キ一致ノ態度ヲ取リ同戰爭終了後千八百五十六年四

月十六日英佛普奧實テアルチニヤ及ヒ土耳其ノ七國ハ巴里宣言ヲ以テ前ニ述ハタル四箇條ノ約定ヲ爲シ其第二條ニ於テ局外中立國ノ旗章ヲ掲タル船舶ニ搭載スル敵國ノ貨物ハ戰時禁制品ヲ除クノ外之ヲ拿獲スヘカラサルコト又第三條ニ於テ敵國ノ旗章ヲ掲タル船舶ニ搭載スル局外中立國ノ貨物ハ戰時禁制品ヲ除クノ外ハ之ヲ拿獲スヘカラサルコトトシ北米合衆國西班牙墨西哥ベネチエラ及ヒ支那ヲ除キ其他諸國ハ悉ク此宣言ニ加盟スルニ至レリ而シテ米國ノ之ニ加盟セサルノ理由竝ニ方今ニ於テハ縱令巴里宣言ニ加盟セサル國家ニ於テモ其加盟ナキヲ理由トシテ此原則ノ實行ヲ拒ミ能ハサルニ至リタルノ事由アルコトハ前ニ詳述シタルカ如ク又實例ニ於テモ千八百五十六年以後ノ戰爭ニ於テ此法則ニ反對ノ行爲ヲ爲シタル國ナシ

茲ニ問題ト爲ルハ第二條ニ於ケル中立國船舶中ニ在ル敵國物品ヲ拿捕スルノ妨害ヲ中立國船舶ニ加ヘサルハ巴里宣言ニ由リ中立國ニ與ヘタル特典ナレトモ此點ニ付キ二箇ノ疑問ノ生シ來ラサルヲ得ヌ即チ第一ハ同宣言ニ加盟セサル中立國ニ對シテ同宣言ニ加盟セル交戦國ハ此特典ヲ與フヘキモノナルヤ否

ヤニシテ勿論中立國ノ同宣言ニ加盟セサル者ハ此特典ヲ權利トシテ要求スル
 コト能ハス何トナレハ凡ソ條約ハ締盟國相互間ニ於テノミ拘束力ヲ有スルノ
 ミナラス既ニ宣言ノ末條ニ於テ同條約ハ締盟國又ハ之ニ加盟ノ國家間ヲ除ク
 ノ外ハ拘束力ナキコトヲ明定セルヲ以テナリ然レトモ巴里宣言ニ加盟セサル
 國ニシテ自ラ戰爭ヲ爲スニ當リ方今ニ於テハ中立國旣ノ下ニ在ル搭載品ヲ保
 護セルコト能ハサルノ事情ニ立至リ又之ヲ保護スルノ道理ニ由リ行動スルニ
 拘ラス宣言ニ加盟セル國家ノ戰爭ヲ爲スニ際シテ斯ル中立國ニ對シテハ宣言
 ニ加盟セサルノ故ヲ以テ宣言ノ明文上中立國ニ與ヘタル特典ヲ與ヘス又之ヲ
 受クル能ハストスルトキハ其中立國ニ於テ自ラ好感情ヲ有スル能ハサルヘキ
 ニ由リ列國ノ實例ニ於テモ千八百七十年普佛戰爭中兩國ハ巴里宣言ニ加盟セ
 サル米國及ヒ西班牙國ノ船舶ニ關シテモ同シク此宣言ノ規定ニ依リテ行動セ
 リ更ニ又第二ノ疑問タルヘキハ交戰國ノ一方ハ同宣言ニ加盟シ他ノ一方ハ之
 ニ加盟セサル者ナルトキハ加盟國ハ敵國ニ對シテ巴里宣言ノ規定ヲ實行スル
 ノ義務アリヤ否ヤノ問題ヲ生スルヲ免レス此點ニ付テモ議論ノ存スル所ナレ

トモ前述ノ理由ニ據リ實例ニ於テハ千八百六十年阿片戰爭ニ於テ英佛兩國ハ
 清國ニ對シ千八百八十五年智利ペリユー兩國ノ西班牙國ニ對シ千八百九十四
 年日清戰爭中我國ノ清國ニ對シテモ敵國ハ巴里宣言ニ加盟セサルニ拘ラス同
 宣言ノ規定ヲ實行シ清國モ亦中立國船舶中ニ於テ我國ノ物品又ハ我國船舶中
 ニ於ケル中立國ノ物品ヲ捕獲セント企テタルコトナシ

第二款 臨檢及ヒ搜查

戰爭中交戰國軍艦ハ敵國ノ軍艦ニ對シテ戰闘ヲ爲シ得ヘキハ勿論敵國ノ私有
 船舶ハ之ヲ拿捕シ得ヘキハ既ニ述ヘタル所ナリ而シテ海上ニ於ケル私有船舶
 ニシテ果シテ自國ニ屬スルヤ敵國ノ所有ナルヤ將タ中立國ニ屬スルモノナ
 ルヤ判然ナラサルコトアルノミナラス其國籍又ハ國旗ヲ偽ルコトアリ加之
 中立國ノ船舶ナルコト疑ナキ場合ニ於テモ其到達港ハ封港ヲ破ルノ目的ナ
 ルヤ否ヤ戰時禁制品ヲ搭載スルヤ否ヤ又中立違反ノ使用ニ供セラレ居ルヤ否
 ナニ付テハ交戰國軍艦ニ於テ一般ノ商船ニ對シ臨檢搜查ヲ爲スヘキ權利ナシ

トモハ交戰者ハ海上捕獲ノ權利ヲ有スルモ全然無用ニ屬スルノ結果ヲ來スヘク交戰國ノ中立國人民ニ對スル權利ヲ論スルモ實用ナキニ至ルヘシ故ニ交戰國軍艦ハ海上ニ於テ自國船舶敵國船舶ニ付テハ固ヨリ臨檢搜查ノ權利ヲ有スルノミナラス中立國ノ領海以外ニ於テハ第三國ノ私有船舶ニ對シテ亦其進行ヲ停止スルコトヲ命令シ之ニ臨檢及ヒ搜查ヲ行ヒ其船舶並ニ搭載品ノ果シテ捕獲スヘキ物ナルキ否ヤヲ検査スルノ權利ヲ有スルハ古來ノ慣法ニシテ學者モ之ニ異論アルコトナク諸國一般ニ承認スル所ノ法則トス而シテ此權利ハ單ニ戰爭中ニ限り平時ニ於テハ他國船舶ニ對シテ斯ル權利ヲ有スルコトナク又戰爭中此權利ヲ行フ者ハ交戰國ノ軍艦ニ限り又其臨檢搜查ヲ受クヘキ者モ亦第三國ニ對シテハ其私有船舶ニ限り官船ニ及ホスコト能ハスシテ中立國ノ軍艦其他官船ニ對シテ之ヲ行ハントスルハ其國主權ニ對スル大ナル侮辱ニシテ其權利ノ侵害トス而シテ交戰國軍艦ノ臨檢搜查ヲ爲スニ付テハ中立國ノ船舶ニ之ニ服從スヘク若シ抵抗スルニ於テハ其船舶ハ敵國ニ屬スルモノト同一視セラレ沒收ヲ受クヘキモノトス之ニ反シテ敵國商船其他ノ私有船舶ニ臨檢搜

査ヲ爲サントスル場合ニ於テハ其船舶ハ之ニ抵抗スルノ權利ナキニ非スシテ其抵抗ハ爲シ得ヘキモ其力足ラサルニ於テハ之カ爲メ苛酷ナル處罰ヲ受クヘキ危險ハ自ラ伴ハザルヲ得ス凡テ捕獲ニ關シ我國海軍捕獲規程第一條ニ於テモ帝國軍艦ハ敵國若クハ嫌疑アル船舶ノ進行ヲ止メ之ヲ拿捕スルコトヲ得トアリテ交戰國軍艦ハ海上ニ於テ私船ニ遇ヒタルトキハ信號旗又ハ汽笛若クハ空砲ヲ發シテ其進行ノ停止ヲ命令シ若シ停止ヲ肯セス又ハ逃亡セントスルトキ或ハ抵抗シタルトキ若クハ敵國船舶ナルトキハ之ヲ拿捕シ得ヘク又中立國ノ商船ハ其中立國ニ屬スルコト並ニ其航海ノ目的ヲ證明スヘキ證書ヲ船中ニ有スヘキヲ以テ海上ニ於テ交戰國軍艦ノ爲メ其進行ヲ停止セラレタルトキハ軍艦ヨリ派遣スル士官ニ其船舶ノ國籍航海ノ目的及ヒ荷物ノ性質ヲ書類ニ據リ其尋問ニ對シテ證明セサルヘカラス斯ク交戰國軍艦ニシテ私有船舶ノ航海ノ進行ヲ停止シテ其船舶ヲ調査スルヲ臨檢ト曰ヒ斯ル場合ニ當リ尙ホ交戰者ニ於テ疑ヲ招クトキハ其船舶ヲ搜索検査スルヲ得之ヲ名クテ搜查權ト曰フ

交戦國軍艦ノ斯ク臨檢搜查ヲ行フカ爲メ船舶ニ接近スルニ當リテハ特ニ軍艦ノ國旗ヲ偽リ又ハ國旗ヲ掲揚セザルモ妨ナレト雖モ臨檢搜查ヲ行フニ際シテハ其軍艦本國ノ國旗ヲ掲揚セザルヘカラス又私船ニ停止ヲ命ジタル場合ニ於テ之ヲ背セザルトキハ空彈ヲ發砲シ又ハ實彈ヲ其船體ニ近ク發射シテ其命令ヲ遵奉セシメ得ヘク其他私船ノ進行ヲ停止セシムルニハ如何ナル信號ヲモ用ヒ得ヘキモノタリ而シテ尙ホ其命令ニ從ハサルトキハ兵力ヲモ用ヒ得ヘキモノトス然レトモ臨檢搜查ヲ行フニ當リテハ相當ノ禮義ヲ守リ成ルヘク其船舶ノ航海並ニ内部ノ事務ニ妨害ヲ加フルコトハ避ケザルヘカラス而シテ臨檢搜查ノ結果ニシテ其船舶又ハ積荷ニ嫌疑アルトキハ之ヲ最近ノ自國捕獲審檢所ニ送致シ裁判セシムヘク其審判ニ由リ處罰セラルヘキモノハ沒收セラレ之ニ反シテ十分ノ疑アリタルモ捕獲ト爲ルヘキ證據不十分ナルトキハ放免セラレ船舶ノ抑留及ヒ航海遲延ニ伴フノ費用ハ船主ノ負擔ニ屬シ其拘留引致ニシテ軍艦ノ專横ニ出テ拿捕ノ理由ノ存セザルトキハ軍艦本國ハ其損失ヲ負擔セザルヘカラス要スルニ中立國ノ私有船舶ニシテ拿捕セラルヘキ場合ハ第一交戦

國軍艦ノ臨檢搜查ニ反抗スルカ第二其臨檢搜查ニ依リ船舶ノ不正ノ行爲ニ使
用セラレ居ルカ又ハ其搭載品ニシテ捕獲セラルヘキモノナルコト明カナルカ
又ハ正當ニ其疑アルトキ第三船舶ノ書類ニ付キ船舶真正ノ性質ニ不明ナル所
アル場合トス
前述ノ法則ニ據リ交戦國モ安全ニ戰時ノ權利ヲ行ヒ得ヘク中立國ノ船舶モ亦
不當ナル拘留引致ヲ免ルヘキコトナレトモ近來中立國船舶ヲ保護セントノ熱
心ヨリシテ一層嚴ナル制限ヲ臨檢搜查ノ實行ニ加ヘント主張スル學者ナキニ
非スホトトフキニ如キハ臨檢士官ハ船舶ノ記錄書類以外ヲ臨檢スヘカラス
トシ「オルト」ランハ其書類ニ詐僞ノ疑アルトキニ限り其以外ノ處分ヲ爲シ得
ヘントセルモ此等ノ說ハ現行國際公法ノ法則ト看ルヘカラスシテ列國條約ヲ
以テスルニ非サレハ其說ヲ實行スルコト能ハス又學理上ニ於テモ苟モ交戦國
ニ於テ敵國私有財産又ハ戰時禁制品ヲ捕獲シ得ル權利ノ存在スル間ハ交戦國
ヲシテ臨檢搜查ノ權ヲ十分ニ行ハシメサルニ於テハ捕獲ノ法則ハ自ラ實用ヲ
見ルコト能ハサルニ至ルヤ明カナリ故ニ我國海軍捕獲規程第十二條ニ於テ

モ臨檢搜查ノ方法ヲ詳細ニ規定シ艦長ハ船舶ノ拿捕スヘキ疑アル場合ニ限り
臨檢員ヲ指命シ臨檢ヲ行フモノトシ其船舶ノ進行中止ヲ命ジ臨檢員ハ先ツ船
舶ノ書類ヲ點檢シ書類其他ノ點ニ於テ疑ナシト断定スルトキハ直チニ放免シ
之ニ反シテ疑アリト思考スルトキハ船内ヲ搜查シ閉鎖シタル場所及ヒ器具ハ
艦長者タル代理者ヲシテ開カシテ拒ムトキハ臨檢ノ處置ヲ爲スヘシ云ト規
定シ第十三條ニ於テハ臨檢及ヒ搜查ニ依リ艦長若シ該船ニ嫌疑アリト思考シ
タルトキハ艦長ヲシテ説明ヲ與フルノ便ヲ得セシメ艦長説明ノ後猶ホ拿捕ス
ヘキ證據アリト信スルトキハ該船舶ヲ拿捕スヘキモノトス拿捕スヘキ證據ト
爲ルヘキ事項トハ第一、船ノ性質、艦裝及ヒ積荷第二、該船ノ書類第三、艦長及ヒ水
夫ノ證言ヲ云フト規定セリ
茲ニ問題ノ存スルハ中立國船舶ノ艦長ニシテ臨檢搜查ニ反抗スル場合ニ於テ
ハ其船舶ノ搭載品ヲモ捕獲シ得ヘキヤ否ヤノ疑問ナリ勿論艦長ノ臨檢搜查ニ
反抗スルトキハ其船舶ノ沒收ナルヘキコトハ交戰國ノ權利トシテ第三國ノ領
海以外ノ海上ニ於テハ總テノ船舶ヲ正當ニ臨檢搜查スルノ權利アルヲ以テ之

ヲ妨害スルノ點ヨリシテ自ラ其違反ノ處罰アルヘキハ論ナシト雖モ之カ爲
メ其船舶中ノ搭載品ヲ沒收ナルヘキヤ否ヤニ付テハ議論アルヲ免レス此點ニ
關シテハ英、米兩國ノ法廷ニ於テハ其處分ニ付キ論究シタルノ實例アリテ兩國
共ニ斯ル場合ニ於テハ其搭載品ハ船舶ノ運命ニ伴フモノトシ船舶ノ違反ニ因
リ沒收セララルトキハ搭載品ヲモ沒收スルコトト爲シ船員ノ國際公法ニ對ス
ル犯行ハ其保管ノ下ニ居ル財產ハ全然處罰スヘキモノトセリ然レトモ敵國船
舶中ニ在ル中立國ノ搭載品ニ付テハ其趣ヲ異ニシテ若シ其船舶ノ臨檢搜查ニ
反抗スル場合ニ於テハ英、米兩國ハ互ニ其意見ノ一致ヲ見ル能ハスシテ英國ハ
其搭載品ハ船舶ノ反抗ノ爲メニ何タル影響ヲ蒙ルヘキモノニ非ストシ敵國船
長ハ其保管ノ下ニ在ル財產ヲ敵國ヨリ取戻スノ權利ヲ有スルト同等ニ中立國
ノ物品所有者ハ其艦長ノ敵國軍艦ニ反抗ヲ豫想セサル所ナリトシ之ニ反シテ
中立國民ニシテ其物品ヲ敵國ノ軍艦其他武裝ノ商船中ニ搭載スルトキハ其
搭載品ハ敵國ノ爲メ保護セララルヘキコトハ容易ニ豫想シ得ヘキニ由リ固ヨリ
敵物トシテ沒收セララルヘキモノトセリ然ルニ米國ニ於テハ中立國民ノ目的

ハ更ニ其物品ヲ運搬スルニ在リテ之ヲ運搬スル船舶ノ武裝スルト否トハ物品所有者ノ關係セザル所ナルカ故ニ其武裝スルト否トニ由リテ捕獲スル能ハストスルニ在リ然レトモ此點ニ付テハ英國ノ意見ハ正當ニシテ武裝ノ敵船中ニ在ル搭載品ハ捕獲セラルヘキカ如ク
 臨檢搜查ニ付キ議論ノ存スルハ中立國船舶カ其國軍艦ノ警護ニ係ルモノニ對シ交戰國軍艦ノ臨檢搜查ヲ行フコトヲ得ルヤ否ヤノ點ニシテ千六百五十三年英國ト「バルチフ」聯合國トノ戰爭中瑞典國女王「クリスタカナ」ハ布告ヲ出シテ自國商船ハ軍艦ノ警護ノ下ニ航海スルヲ得ヘク斯ル場合ニハ警護艦ハ其保護ノ下ニ在ル船舶ノ臨檢搜查ヲ拒絕スヘキコトヲ訓令シ第十八世紀ノ中頃ヨリシテ此點ニ付キ列國間ノ問題ヲ惹起シタルコト少カラズ千七百八十年和蘭國ハ其軍艦ニ命令ヲ下シ中立國軍艦ノ自國船舶ヲ警護シテ航海スルトキハ軍艦ニ於テ其警護スル船舶ニ罪狀ナキコトヲ言明スルトキニ限り之ニ臨檢搜查ヲ行フヘカラストシ千七百八十一年瑞典商船六艘ノ軍艦警護ニ係ルモノニ對シテ英國軍艦ノ臨檢ヲ試ミタルカ爲メ兩國ノ問題ト爲リ瑞典國ハ之ヲ露國ニ訴ヘ露帝

「カザリン」二世ノ首唱ニテ第一武裝中立ノ同盟起レリ其武裝中立ノ宣言中ニ於テ軍艦警護ノ下ニ在ル中立國船舶ニ對シテ臨檢搜查ノ權利ナキコトヲ規定シ諸國ハ條約ヲ以テ之ト同一ノ規定ヲ爲スモノ多ク米國モ千七百八十二年乃至千八百年ニ於テ斯ル條約ヲ六箇國ト締結シ大陸ノ學者ハ此臨檢ヲ免除スヘキコトヲ主張スルノミナラス之ヲ國際公法上ノ法則ト論シ英、米學者ハ之ニ反對シ米國學者ノ說ニ依レハ條約ヲ以テ同一ノ規定ヲ爲スニ非サレハ交戰國ハ決シテ中立國軍艦ノ警護ノ爲メ臨檢搜查ノ權ヲ失ハサルモノトシ殊ニ英國政府ハ當初ヨリ臨檢搜查ヲ免除スヘキ條約ヲ他國ト締結シタルコトナク千七百九十八年「マリア」號事件ニ於テハ英國艦隊カ英吉利海峽ニ於テ商船ヲ同國軍艦ノ警護セルニ拘ラス之ニ臨檢ヲ試ミタルニ際ニ瑞典軍艦ノ之ヲ拒ミタルヲ以テ其商船「マリア」號ヲ拿捕シ軍ニ臨檢ヲ拒ミタルノ故ヲ以テ之ヲ沒收セリ尋テ第二ノ武裝中立同盟ハ露國ノ首唱ニテ惹起サレ其宣言中軍艦警護ノ下ニ商船ノ航海スルトキハ其士官ニ於テ商船ノ航海ニ付キ罪狀ナキコトヲ言明スルトキハ之ニ臨檢スルコト能ハストセリ然ルニ千八百十三年及ヒ十四年ニ於テ英國

ハ武裝中立ノ同盟國タリシ露國瑞典及ヒ丁抹ハ條約ヲ以テ此等諸國ハ臨檢ノ免除ヲ主張シ得ルト同時ニ英國ハ之ヲ拒絕シ得ヘキモノト規定シタルカ爲メ此點ニ付キ締盟國各自ノ任意ト爲リ其後方今ニ至ルマテ列國ノ慣例一定セス隨テ列國ハ各其政略上任意ニ之ヲ處理スルモノノ如ク英國ハ斷然臨檢搜查ノ權ヲ主張實行シ佛國ヲ始メ獨逸西伊及ヒバルチツク諸國ハ法律ヲ以テ警護軍艦ノ言明ニ信據シ船隻ノ臨檢搜查ヲ行フヘカラストシ米國ハ中間ニ立テ法理論トシテハ英國主義ニシテ實行ハ大陸主義ヲ採リ警護軍艦ハ其警護ニ係ル船隻ニ搭載物及ヒ到達港等ノ目錄ヲ備ヘテ之ヲ交戰國軍艦ニ證明スルコトト爲セリ要スルニ中立國商船ヲ軍艦ノ警護スル場合ニ於テ交戰國軍艦ノ之ニ臨檢搜查ヲ爲スヘカラストスルハ未タ國際法ノ法則ト爲スコト能ハス又理論上並ニ中立國及ヒ交戰國間ノ利益上ヨリスルモ長日月ノ間ニハ却テ不利益ナルモノト謂ハナルヲ得ス然レトモ臨檢免除ニ付キ諸國一般ニ異論ナキ一點ハ中立國軍艦ニ於テ交戰國ノ船隻ヲ警護スルハ別ニ答ムヘカラサレトモ此場合ニ於テハ其船隻ノ爲メ臨檢搜查ヲ免レシムルノ理由ナキカ如ク又中立國船隻ノ交戰國

軍艦ニ警護セラルルハ中立ノ違反ナルニ由リ縱令其航海並ニ搭載品ニ開狀ナク單獨ニテ航海スルトキハ拿捕セラルヘカラサルモノモ敵國軍艦ノ警護ノ下ニ在ルノ理由ニ依リ捕獲セラルルノ危險之ニ伴フヘキモノタリ

第三節 封港

第一款 封港ノ性質

封港ハ戰時國際公法中特ニ海上ニ於テノミ交戰國ノ行ヒ得ヘキ權利ニシテ之カ爲メ中立國ノ商業ニ大ナル影響ヲ有スルヲ以テ最も重要ナルモノトス凡ソ陸戰ニ於テ軍隊ノ屯在地ヲ許可ナクシテ通行スルハ犯罪トシテ罰セラレ特ニ敵ノ城堡ヲ包圍スルトキハ城中ト其以外ノ交通ヲ遮斷スルモノナレトモ海上ニ於テハ軍艦ノ屯在ノ場所ヲ商船ノ通行スルハ決シテ禁スル所ニ非スシテ中立國船隻ハ戰爭中交戰國ニ交通通商ノ權利ヲ有ス然レトモ交戰國ハ戰爭ノ權利トシテ軍艦ヲ敵國ノ港灣ニ近ケ置キテ其港内其他一定ノ場所ニ對シ諸國船隻ノ出入ヲ一切禁止スルヲ得ヘタ之ヲ名ケテ封港ト曰ヒ其目的トスル所ハ

軍略上其封港シタル地方ヲ降服セシムルニ在ルコトアリ又商業政略上敵國ヲ
シテ外國トノ商業ヲ遮斷シ之カ爲メ敵國ノ財源ヲ涸竭シ其戰闘力ヲ減殺スル
ニ在ルコトアリ而シテ其封港ノ爲メ損害ヲ被ルヘキモノハ管ニ敵國ニ止マラ
スシテ中立國船舶モ其港灣ニ對シテ商業ニ從事スル能ハサルヨリシテ結果ス
ル損害少カラサルコトナレトモ是レ交戰國ノ戰爭ニ關シテ有スル國際公法上
ノ權利ニシテ中立國並ニ其人民モ之ニ對シテ故障ヲ爲スコト能ハサルノミ
ナラス其封港ヲ爲シタル理由ノ當否ニ付テモ容喙スルノ權ナキモノトス然レ
トモ交戰者ト中立國トハ自ラ封港ニ付キ利害關係ヲ異ニスルヲ以テ古來交戰
者ハ時トシテハ敵國ニ於ケル一定ノ港灣ヲ封港スル宣言ノミヲ爲シ又時トシ
テハ其封港ヲ維持スルニ不十分ナル兵力ヲ設置シテ以テ封港ノ結果ヲ收メン
トシ中立國ハ其利益上斯ル宣言の又ハ不完全ナル封港ノ爲メニ其商業ヲ妨害
セラレザラント欲シ第十八世紀ノ中頃以來此點ニ付テハ屢々國際問題ヲ惹起
セテ千七百八十年バルチック沿海諸國ノ第一武裝中立ニ於テハ封港ハ交戰國艦
隊ノ近ツキ來ル爲メ中立國船舶ノ其港ニ入ルニ付キ明カナル危險アル場合ニ

之ヲ抑留スルコトヲ得ヘシトセハ其交戰國ノ一方ノミ利益ヲ受クルノ結果ヲ
生スルニ至ルヲ以テナリ故ニ實際上ニ於テハ中立ノ宣言中ニ之ヲ禁スル旨ヲ
明言スルコト多シ
(九) 中立國ノ港灣ニ於テ捕獲物ヲ賣拂フコトヲ得ルヤ否ヤ 此問題ニ對シテ
ハ正式ノ判決ヲ經タル後ニ於テハ中立國ノ港灣ニ於テ捕獲物ヲ賣拂フコトヲ
得ヘシトノ說アルモ若シ之ヲ許スヘキモノトセハ交戰地ニ遠キ交戰國ノ一方
ハ之カ爲メニ利益ヲ受クルノ結果ヲ生スルコト前ノ場合ト同一ナルカ故ニ之
ヲ賣拂フコトヲ得スト言フヲ妥當ナリト信ス
(十) 交戰國ノ一方ハ中立國ニ於テ軍資金ヲ募集スルコトヲ得ルヤ否ヤ 中立
國ハ交戰國ノ一方ヲ幫助スルコトヲ得ストノ原則アルカ故ニ中立國政府カ交
戰國ノ一方ニ對シ軍資金ヲ貸與スルコトヲ得サルハ勿論ナリト雖モ交戰國ハ
公然中立國人民ヨリ軍資金ヲ募集スルコトヲ得ルヤ否ヤ換言スレハ中立國ハ
其募集ヲ禁スルノ義務アリヤ否ヤ此點ニ付テハ多少ノ疑ナキニアラスト雖モ
若シ公然之ヲ募集スルコトヲ得ヘシトセハ其募集シタル國ノミ利益ヲ受クル

ニ至ルヲ以テ中立國政府ハ之ヲ禁スルノ義務アルモノトス然レドモ其募集カ秘密ニ行ハレタルトキハ中立國ハ復タ如何トモスルコト能ハサルカ故ニ責任ヲ負フコトナシ是レ恰モ中立國人民カ私ニ交戰國一方ノ軍隊ニ加ハラタル場合ト同シク一國ハ其人民ノ行爲ヲ一監督スルコト能ハタルニ由ルモノナリ(宇)中立國ノ一箇人カ交戰國ノ一方ニ兵器彈藥兵糧等ヲ賣渡シ又ハ貸與シタルトキハ中立國政府ハ其行爲ニ對シテ責任ヲ負フヘキヤ否ヤ是レ亦多少疑問ニ屬スルモ中立國政府ニ責任ナシト云フヲ通説トス蓋シ現今ニ於テハ戰爭中ト雖モ商業ハ自由ナルヲ原則トシ唯其商品カ戰時禁制品ナルトキハ他ノ交戰國ノ爲メニ捕獲セラレルノ危險アルノミ故ニ一箇人カ此危險ヲ冒シテ貿易ヲ爲スニ當リ所屬國政府カ其行爲ニ付キ責任ヲ負フヘキ理由ナシ政府ハ唯一箇人ノ行爲ニ對シテ保護ヲ加ヘサルノミ(尤モ中立國政府カ名ヲ一箇人ノ行爲ニ假リテ交戰國一方ヲ助クル場合ノ如キハ自ラ中立義務違反ヲ責ニ任セサルヘカラサルコト勿論ナリ)

中立國人民カ自ラ危險ヲ冒シテ戰時禁制品ヲ交戰國ノ一方ニ賣渡スコトヲ得

ルハ以上述ヘタル所ノ如シト雖モ中立國ハ何時ニテモ此等ノ行爲ヲ禁スルコトヲ得ヘク唯之ヲ禁スルノ義務ナキノミ此ノ如ク戰時禁制品ノ商業ヲ禁スルト否トハ中立國ノ任意ナルカ故ニ實例ニ於テハ區區ニシテ一定スル所ナシ千八百七十年普佛戰爭ノ際ニ於テハ白耳義瑞西二國ハ國內ニ命令ヲ發シテ佛國ニ兵器彈藥ヲ賣ルコトヲ嚴禁セリ然ルニ英米等ノ國ニ於テハ更ニ禁スル所ナカラシテ以テ獨逸ハ英米等ニ對シ好意ヲ以テ戰時禁制品ノ商業ヲ禁センコトヲ申込ミタリ是ニ於テ米國ハ國內ノ大製造所長ニ對シ命令ヲ發シテ公然賣渡スコトヲ禁止セラシ然レトモ實際ニ於テハ米國商人ハ製造所ヨリ購入シテ之ヲ佛國ニ賣渡シタリ

第二 中立國人民ノ權利義務

中立國人民ノ權利義務モ亦原則トシテ中立國政府ノ權利義務ト其根據ヲ同シカス即チ交戰國就レニモ加糖セス其交戰行爲ニ關係セザルニ在リ唯一ハ一國ヲ代表スル行爲ニシテ直接ニ交戰國ニ關係ヲ及ホスモノナリ之ニ反シテ他ノ一箇人カ交戰國ニ對スル關係ナリ雖チ實際ノ適用上多少其規則ヲ異ニスルノ

今其義務ノ二三ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 中立國人民ハ交戰國ノ軍隊ニ加ハルコトヲ得タルヲ原則トス然レトモ箇人トシテ之ニ加ハリタルカ爲メニ直チニ犯罪ト爲ルモノニアラス自己ノ危險ヲ冒シテ交戰國ノ軍隊ニ加ハルハ事實上其人ノ自由ナリ唯之カ爲メニ他ノ一方ノ交戰國ヨリ敵國人タルノ取扱ヲ受ケ一方ニハ本國政府ノ一切ノ保護ヲ受ケタルノミ

(二) 前ニ述ヘタル如ク中立國人民ハ交戰國ト兵器彈藥等ノ取引ヲ繼續スルコトヲ得ヘシ然レトモ此等ノ物件ハ戰時禁制品ノ規則ニ依リテ差押ヘラレ且ツ沒收セララルルノ危險アリ而シテ此場合ニ於テハ其物件ニ關シ本國政府ノ保護ヲ受クルコトヲ得サルハ勿論ナリ

(三) 中立國人民ハ米麥酒其他一切ノ商品ヲ交戰國ニ對シ賣却スルコトヲ得但シ封鎖ヲ侵スコトヲ得ス若シ之ヲ侵セハ其船舶ヲ捕獲セララルルノ危險アルヲ免レス

以上ハ中立國人民ニ關スル規則ノ要領ナリ尙ホ此ニ一言スヘキハ前述ノ如ク

中立國政府ハ其人民ニ命令シテ交戰國ニ對スル取引ヲ禁スルコトヲ得ヘシ是レ國際法上ノ義務ニアラサルモ他國ノ嫌疑ヲ受ケテラシムルカ爲メ特ニ此ノ如キ處分ヲ爲スモノナリ而シテ此場合ニ於テハ其中立國ハ禁令違反者ヲ罰スルコトアリト雖モ是レ唯内部ノ關係ニ止マリ國際法上ノ義務ニアラス是レ須ク注意スヘキ所ナリ

第五 中立國人民ノ商業

二國乃至數國ノ交戰中ニ於テ中立國人民ハ中立國間ニ於テ商業ヲ營ムコトヲ得ルノミナラス交戰國ノ一方又ハ雙方ニ對シテ商業ヲ爲スコトヲ得ルヲ原則トス然レトモ交戰國ハ中立國ノ商業ノ爲メニ敵國ノ戰鬪力ヲ増加セシムル虞アルカ故ニ此原則ニ對スル多少ノ制限ヲ加フルコトヲ得而シテ此兩者ヲ調和スルニ付テ頗ル困難ナル問題ヲ生ス

古ノ交戰國ハ極メテ放肆ナル舉動ヲ爲シ就中海上ニ於テハ中立國ノ權利ヲ無視スルノ行爲アリシモノナリ然ルニ千八百五十六年中立國ノ船舶若クハ貨物ニ關スル巴里ノ宣言アリシ以來稍ヤ規則ノ一定ヲ見ルニ至レリ而シテ其規則

ノ重ナルモノハ第一敵國船舶中ニ在ル中立國人ノ貨物ニ關シ第二中立國船舶中ニ在ル敵國人ノ貨物ニ關ス蓋シ陸戰ニ於テハ船人ノ所有物ハ之ヲ尊重スルノ原則ヲ認ムト雖モ海戰ニ於テハ久シク此原則ヲ認メシテ敵國人ノ貨物ハ船舶ト共ニ之ヲ沒收スルコトヲ得ルヲ慣例トセリ故ニ敵國ノ船舶内ニ敵國人ノ貨物ヲ搭載セル場合ハ勿論之ヲ沒收シタルノミナラス是レ今日ニ於テモ尙ホ許サル所ナリ中立國ノ船舶内ニ在ル敵國人ノ貨物モ亦之ヲ沒收シタリ然ルニ右巴里宣言ニ由リテ之ニ關スル原則確定セリ左ニ其沿革ノ大要ヲ記述ス

第一 中立國ノ船舶内ニ在ル敵國人ノ貨物

當時ニ於テハ海上法若クハ海上案内ト稱スル一種ノ規則存在セシカ是レ今日ノ海上法ノ根據ト爲リシモノニシテ佛語之ヲコンシユラゴラゴト云フ實ニ第十三世紀ヨリ第十四世紀ノ交ニ於テ發生シタルモノナリ此規則中多少海戰ニ關スルモノアリ中立國ノ船舶内ニ在ル敵國ノ貨物ニ關スル規則モ亦之ヲ存セリ此規則ニ依レハ此時代ニ於テハ敵國人ノ財產ハ差押アルコトヲ得ルモ

中立國人ノ財產ハ之ヲ傷害セタルヲ以テ原則トセリ隨テ敵國人ノ貨物ヲ積載セル中立國ノ船舶ヲ發見スルトキハ單ニ其貨物ノミヲ差押ヘ又ハ沒收シタルモノニシテ決シテ其船舶ニ及ボササルノミナラス其船舶ノ所有主ニ對シテ貨物ノ運送貨ヲ支拂ヒタルモノナリ尤モ停船ヲ命セラレタルトキハ交戰國軍艦ノ命ニ從ヒ其貨物ヲ運搬セタルヘカラス此場合ニ於テ若シ其命ニ從ハサルトキハ忽チ砲撃セラレ之ニ從フトキハ停船中ノ損害ハ總テ交戰國ニ於テ之ヲ支拂ヒタリ而シテ各國ノ條約ノ如キモ亦多ク此主義ニ依リテ締結セラレ特ニ英國ノ如キハ之ヲ實際ニ行ヘリ然ルニ佛國ハ海上ノ事ニ付テハ英國ニ比シ一般ニ寛ナリレニ拘ラス此點ニ付テハ今日ヨリ見レハ不法ノ行爲ヲ爲シタルコト少カラズ即チ佛國法ニ依レハ敵國人ノ貨物ハ勿論之ヲ積載セル中立國ノ船舶ヲモ共ニ之ヲ沒收スヘキモノトセリ是レ蓋シ其中立國ノ船舶ハ專ラ敵意ヲ有スルモノト看做シタルニ由ルナリ其後千五百四十三年ニ至リ之ニ關スル勅令ヲ發シ千五百八十四年ニ(ヘンリー三世)ノ法律アリト雖モ其國法ハ皆頗ル嚴格ナリシナリ故ニ此時代ニ於テハ前述ノ主義ヲ表明スル一ノ餘存セリ曰ク敵人ノ衣ヲ

著クレハ其衣モ友人ノ衣モ又其身體モ共ニ奪ハルレト然ルニ其後他ノ諸外國ニ於テハ佛國ノ實際ト甚タ異ナリ極メテ寬大ナル主義ヲ採リ單ニ敵國人ノ貨物ノマヲ沒收セシカ此主義次第ニ進歩シ遂ニ中立國ノ船舶内ニ在ル貨物ハ敵國人ノ物ト雖モ之ヲ沒收セストノ條約ヲ見ルニ至リ英國ノ如キハ諸外國ト此ノ如キ條約ヲ締結シタリ然レトモ條約ハ其當事國ノ間ニ於テノニ效力ヲ有スルモノナルカ故ニ實際ニ於テハ固ヨリ區區ナリシカ佛國ノ如キモ亦此主義ニ依リテ此條約ヲ締結スルニ至レリ然レトモ是レ單ニ箇箇ノ條約ニ於テ進歩シタル主義ヲ採リタルニ止マリ國法トシテハ中頃寬大ナル時代アリシノミニシテ尙ホ依然昔時ノ國法ヲ存セリ漸ク降リテ千七百七十八年佛國ハ始メテ昔時ノ野蠻ナル實際ヲ廢シ亞米利加ト條約ヲ締結スルニ際シテハ他ノ諸外國ノ條約ト同シク條約面ニ於テハ中立國ノ船舶ニ積載セル貨物ハ自由ナリ即チ唯リ船舶ヲ沒收セサルノミナラス敵國人ノ貨物モ亦自由ナリ戰時禁制品ヲ除キト爲シ同時ニ國法モ亦此主義ヲ取リタリ然レトモ尙ホ其初ニ於テハ一ノ條件ヲ附シ自國ニ於テ交戰國トシテ此條約ヲ遵守スルモ敵國ニ於テ若シ同一ノ原則ヲ遵守一

サルトキハ佛國モ亦之ヲ遵守セストノ制限ヲ附シタリ然ルニ此等ノ例外モ千七百八十年ニ至リ之ヲ廢止シタルヲ以テ此時代ヨリ右ノ原則ハ一般ノ採用スル所ト爲リ頗ル其範圍ヲ擴張セラレ各國ノ條約ハ勿論其國法ニ於テモ荷モ國法ヲ有スル國ニ於テハ皆此原則ヲ認ムルコトト爲レリ

以上述ヘタル如キ沿革ヲ經テ遂ニ彼ノ有名ナル千八百五十六年三月ノ巴里宣言ナルモノヲ見ルニ至リ之ニ依リテ中立國ノ船舶内ニ在ル敵國人ノ貨物ハ戰時禁制品ヲ除クノ外ハ全ク自由ニシテ決シテ沒收セラズルコトナシトノ原則確定セラズルニ至リシナリ

第二 敵國ノ船舶内ニ在ル中立國人ノ貨物

此場合ハ第一ノ場合ト異ナリ昔時ノ海上案内ノ規則ハ主トシテ貨物ノ國籍ニ重キヲ置キタルカ爲メ縱令敵國船舶内ニ在ルモ中立國人ノ貨物ナルトキハ之ヲ差押フルコトヲ得ストシタリ故ニ船舶ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ荷主ノ便宜ノ爲メ其船舶買受ノ談判ヲ爲スコトヲ許シタリ而シテ若シ其談判調ハサルトキハ差押ヘタル船舶ハ亦其差押ヘタル者ノ便宜ノ場所ニ運搬セラズルヘキモノ

トシタリ此場合ニ付キ一ノ不都合ナルハ貨物ノ運送貨ナリシ蓋シ運送貨ナルモノハ貨物ノ目的地ニ達シタルトキニ於テ之ヲ船主ニ支拂フヘキモノナリ然ルニ交戦國ハ其貨物ノ目的地ニ達セサルニ拘ラス之カ運送貨ヲ沒收セタルハナリ然レトモ以上述ヘタル所ハ實ニ當時ニ於ケル實際ニシテ學者モ之ヲ怪シム者ナク唯運送貨ニ付テノミ多少ノ議論アルニ過キナリシカ佛國ハ此場合ニ於テモ其實際ノ取扱頗ル苛酷ニシテ其船舶ノ國籍ニ重キヲ置キ荷モ敵國ノ船舶内ニ在ル貨物ハ縱令中立國ノ有ニ係ル物ト雖モ皆之ヲ沒收セタリ之ニ付テモ亦一ノ諺アリ「敵人ノ手ニ在レハ友人ノ衣服ヲモ奪フ」ト特ニ此時代ニ於テ甚シカリシハ獨リ中立國人ノ貨物ヲ沒收シタルノミナラス自國人民ノ貨物ト雖モ敵國ノ船舶内ニ在ルトキハ之ヲ沒收シタルコト是ナリ而シテ他ノ諸國ト締結セタル條約ニ於テモ亦此主義ヲ以テ原則ト爲セリ然ルニ他國ニ於テハ之ヲ不正ノモノト爲シ特ニ英國ノ如キハ之ヲ不都合ナリトシ中立國人ノ貨物ハ敵國ノ船舶内ニ在ルモ之ヲ沒收セス殊ニ彼ノ海上案内ノ如ク運送貨ヲ沒收スルカ如キコトハ貨物ヲ目的地ニ運送シタル場合ノ外ハ之ヲ爲ササルコトトセリ是レ

特ニ英米等ニ於テ行ハレタル原則ナリ而シテ各國ハ何故ニ此觀局キ道理ヲ合テテ前ニ述ヘタル如キ實際ノ取扱ヲ爲シタリヤト云フニ前ニ述ヘタル第一ノ場合ニハ船舶ハ中立國ノ船舶ニシテ自由ナルカ故ニ之ニ積載セル貨物モ亦自由ナラサルヘカラストノコトハ何人モ能ク之ヲ了解シタル所ナリト雖モ自由ナル船舶内ニ自由ナル貨物ノ在ルト同シク敵國ノ船舶内ニ在ル貨物ハ皆之ヲ敵ト看做ストノ思想ヲ生シ遂ニ佛國ノ如キハ前述ノ如キ不法ナル行爲ヲ爲シタルモノナリ然ルニ米國ノ「ホイートン」如キハ特ニ此原則ヲ爭ヒ自由ノ船舶内ニ自由ノ貨物アリトノコトト敵國ノ船舶内ニ在ル貨物ノ自由ナルコトトハ之ヲ區別セサルヘカラス若シ同一ナリトセハ自由ノ船舶内ニ在ル物ハ自由ナリ敵國ノ船舶内ニ在ル物ハ敵ナリト云ハサルヘカザラサルノ不都合アリト云ヘリ而シテ此等ノ原則漸ク明ナルニ至リテハ各國ノ條約ニモ概テ之ヲ掲クルニ至リ遂ニ佛國モ一般ノ風潮ニ伴フテ之ヲ認メ此原則ハ益々明ナルニ至レリ而シテ彼ノ「クリミア」戰爭ニ際シテハ敵國ノ船舶内ニ在ル中立國人ノ貨物ハ自由ナリトノ宣言ヲ爲シ幾モナクシテ千八百五十六年ノ巴里宣言ナルモノヲ生シ之ニ

依リテ敵國船舶内ニ在ル中立國ノ貨物ハ自由ナリトノ原則確定セララルニ至
 ラタルモノナリ而シテ此宣言ハ一種ノ條約ニシテ幾多ノ國家之ニ加盟セテ
 唯大國ニシテ加盟セサルハ米國西班牙墨士哥等ニ過キス何故ニ之ニ加盟セザ
 ルヤト云フニ此宣言ニハ以上述ヘタルコトノミナラス私船ヲ以テ拿捕ノ用ニ
 供スルコトヲ禁スルノ條項アリ即チ從來ハ海上ニ於ケル一私人ノ所有權尊重
 ノ原則明ナラナリシカ爲メ戰爭ニ際シテハ一國臣民ノ私船モ亦武裝セテ商船
 拿捕ニ從事シタルコトアリシヲ以テ巴里宣言ニ於テハ此私船ヲ以テスル捕獲
 ハ不正ナリトシテ之ヲ禁シタルナリ然ルニ西班牙等ニ於テハ當時航海業隆盛
 極メ又米國ノ如キモ商船非常ニ發達シ殊ニ米國ハ成ルヘテ戰爭ヲ避ケ特ニ
 海戰ヲ爲ササルノ國是ヲ定メ又其軍隊ノ設備全カラサリシヲ以テ海洋ニ於ケ
 ル商船及ヒ貨物ハ一切之ヲ拿捕セサルモノト爲サンコトヲ希望シタルニ右ノ
 宣言ハ私船ヲ以テスル拿捕ヲ禁セタルヲ以テ遂ニ之ニ加盟セザリシナリ然レ
 トモ近頃米西戰爭ノ際ニ於テ西班牙ハ全部又米國ハ私船ニ關スルモノヲ除キ
 共ニ右ノ巴里宣言ニ從フコトト爲レリ故ニ實際ニ於テハ既ニ之ニ加盟シタル

ト同一ナリ
 然ラハ今日ニ於テハ果シテ如何ナル規則ニ依リテ支配セララルヘキカ巴里宣言
 第二條ニ曰ク「中立國ノ船舶ハ戰時禁制品ヲ除ク外敵國ノ商品ヲ庇護シ中立國
 ノ商品ハ戰時禁制品ヲ除ク外敵國ノ船舶ニ於テ差押ヘラルヘキモノニアラス」
 ト之ニ依リテ之ヲ觀ルニ第一中立國ノ船舶ハ戰時禁制品ヲ積載セサル以上ハ
 何人ノ貨物ヲ積載スルモ即チ敵國人ノ貨物ヲ積載スルモ自由ニ航海スルコト
 ヲ得換言セハ中立國ノ商業ハ戰時ニ於テモ自由ナリ故ニ昔時ニ行ハレタル
 停船臨檢引致等ノ總テノ妨害ハ除去セラレ隨テ一方ニ於テハ要價ノ問題若ク
 ハ費用ノ問題ハ全ク生セサルニ至レリ第二中立國ハ苟モ戰時禁制品ニアラザ
 ル以上ハ總テノ貨物ニ關スル貿易ヲ自由ニ爲スコトヲ得又如何ナル船舶ヲ以
 テ運送スルモ決セテ之ヲ妨害セラルルコトナク即チ敵國ノ船舶ニ積載スルモ
 其貨物ハ沒收セララルコトナキニ至リタリ
 巴里宣言ハ以上二箇ノ結果ヲ生セタリ是レ今日ニ於テ確定セル所ニシテ殆ト
 異論アルヲ見ス唯從來之ニ異ナリタル條約等アリシ爲メ多少ノ異論アリシニ

過キス又前ニ述ヘタル海上案内ニ於テモ多少之ヲ認メタル所ナリ然ルニ右ノ
 巴里宣言ヲ以テ特ニ重要ナリトスル所以ハ海上案内等ノ行ハレタル時代ニ於
 テハ實地ノ國際法トシテ各國之ニ拘束セラルルノ原則少ナク又單ニ二三國ノ
 間ニ條約ヲ以テ定メタルモノアリシモ各國殆ト一致シ條約ヲ以テ國際法ノ原
 則ヲ確定シ之ヲ實地ニ行ヒタルモノ稀ナリシカ巴里宣言ハ各國殆ト一致シ之
 ヲ實際ニ行フコトヲ認メタルカ故ナリ其重要ナルコト多言ヲ用ヒスシテ明白
 ナリト謂フヘシ

以上貨物自由ノ原則ヲ説明セリ是ヨリ其例外タル戰時禁制品トハ如何ナル物
 フ云フキ又之ニ付キ如何ナル規則アリヤヲ述ヘサルヘカラス蓋シ戰時禁制品
 ハ商業自由ノ原則ニ例外ヲ爲スモノナルヲ以テ特ニ之ヲ研究スルノ必要アレ
 ハナリ而シテ商業自由ノ原則ヲ制限スルノ點ヨリ云フトキハ彼ノ封港ヲ爲シ
 タル場合ニ他ノ總テノ貨物モ之ヲ積載セテ其封鎖セラレタル港灣ヲ出入スル
 コトヲ得サルカ如キモ亦其制限タルヲ免レズト雖モ眞ノ制限ハ戰時禁制品ノ
 一アルノミト謂フヘシ其詳細ハ順次之ヲ述フヘシト雖モ之ニ付テモ亦種種ノ

沿革アルヲ以テ左ニ其大要ヲ述ヘシ
 英國ハ昔時ニ於テ海上ノ王トモ稱セラレタル如ク航海上ニ非常ノ權力ヲ有シ
 屢專横ノ行爲ヲ爲シタリ戰時禁制品ニ付テモ亦同シク例ヘハ石炭ノ如キモ時
 トシテハ之ヲ戰時禁制品ナリト云ヒ時トシテハ然ラスト云ヘリ一言ニシテ之ヲ
 蔽ヘハ英國ハ自己ノ便宜ニ從ヒ其說ヲ二三ニシタルナリ而シテ他ノ各國ノ實
 際ニ於テモ如何ナル物ハ果シテ戰時禁制品ナリヤニ付キ疑多アリシカ如シ然レ
 トモ今日ニ於テハ理論上頗ル明白ナルニ至リ亦極メテ簡單ナルモノト爲レリ
 戰時禁制品トハ中立國カ中立義務ノ違反ト爲ルヘキ物ヲ云フ此戰時禁制品ハ
 如何ナル國人ノ所有ニ係ルモ常ニ交戰國ノ爲メニ沒收セラル即チ其物カ交戰
 國ニ運送セラルル場合タルト又自國人ノ物タルト敵國人ノ物タルト乃至中立國
 人ノ物タルトヲ問ハサルナリ管ニ其物ヲ沒收セラルルノミナラス其之ヲ積ミタ
 ル船舶ヲモ沒收セラルルナリ又自國ノ船舶ト雖モ敵國ト戰時禁制品ノ取引ヲ
 爲スコトヲ得サルヲ以テ若シ戰時禁制品ヲ敵國ニ賣渡スカ如キコトアラハ其
 船舶ヲ沒收ス又敵國ノ船舶ニ之ヲ積載セル場合ニ於テハ隨意ニ之ヲ沒收シ且

其船舶ヲモ沒收ス唯中立國ノ船舶内ニ在ルトキハ沒收スヘキヤ否ヤハ議論アリト雖モ此點ニ付テハ後ニ述フル所アルヘシ要スルニ戰時禁制品ナルモノハ戰時ニ於ケル商業ノ自由ニ制限ヲ加ヘ特ニ嚴重ナル制裁ヲ加フルモノナルカ故ニ如何ナル物ハ戰時禁制品ナリヤヲ定ムルコト最モ肝要ナリ然ルニ是レ從來ノ學說判例ニ於テ一致セサル所ニシテ國ニ因リ時代ニ因リ又學者ニ因リテ異ナレリ今之ヲ三點ニ分テテ研究スヘシ

第一 條約上ニ於ケル戰時禁制品

從來戰時禁制品ノ何物ナルヤハ一定セス故ニ各國カ豫テ條約ヲ締結シ其當事國雙方カ互ニ交戦スル場合又ハ其當事國ノ一方カ交戦者タリ他方カ中立國タル場合ニ如何ナル物ヲ戰時禁制品ト看做スヘキヤヲ規定セルモノアリ此種ノ條約ニシテ最モ古キモノハ千六百五十九年佛國ト西班牙トノ條約ナリ此條約ニハ戰時禁制品ヲ列記セリ而シテ此條約ハ久シク各國條約ノ模範ト爲レルモノニシテ其規定ニ依レハ先ツ戰爭ニ直接ニ使用スル器具即チ彈藥等ノ如キ物ハ戰時禁制品ニシテ其他ノ物ハ禁制品ト爲ナス而シテ特ニ總テノ消費物即チ人

類ノ生活ニ必要ナル物ハ盡ク戰時禁制品ト爲サスト明記セリ爾後第十七八世紀ニ至ルマテ各國ノ條約大抵之ニ倣ヘリ然ルニ千七百六十六年英露間ニ締結セル條約ハ之ニ異ナレリ而シテ此條約ハ大ニ勢力ヲ得他ノ條約ハ多クハ此條約ニ依レリ此條約ニ依レハ第一直接ニ戰用ニ立ツ物其他戰爭ノ爲メニ特ニ製造セラレタル物第二硫黃硝石鞍鎧ノ如キ物ヲ戰時禁制品ト爲セリ後幾モナクシテ彼ノ露國ノ兵力中立ノ條約(千七百八十年及ヒ一千八百零九年)如キモ亦之ニ倣ヘリ其他ノ條約亦皆然リ然ルニ千七百九十四年ノ英米間ノ條約ニハ多少之ト異ナル所アリ之ニ依レハ一切ノ船舶ノ必要品ヲ盡ク戰時禁制品ト爲セリ即チ糧食其他場合ニ因リ戰時禁制品ト認メラルヘキ物ハ凡テ戰時禁制品ト爲スヘシトノ條文ヲ設ケタリ尤モ此時代ニハ反對ノ條約モアリテ國ニ因リテ如何ナルモノヲモ戰時禁制品ト爲サストシテ商業ノ完全ナル自由ヲ保テタルモノモアリタリ英葡兩國若クハ葡ト合衆國トノ條約ノ如キハ完全ナル商業ノ自由ヲ認メタリ今日ニ於テモ戰時禁制品ニ關スル條約多少アリテ一一禁制品ト認ムヘキ物ヲ列記セリ概シテ之ヲ言ヘハ武器彈藥其他總テ戰爭ニ關スル一切ノ

物品馬鞍等ヲ以テ戰時禁制品ト爲キ其條約ニ因リテ多少ノ差異アルノ

第二 各國國法ニ於テ如何ナル物ヲ戰時禁制品ト爲セルヤ各國ハ自己ノ國法ニ於テ如何ナル物ヲ戰時禁制品ト看做セルヤ是レ畢竟一國ノ法律ナルカ故ニ自國臣民ニ對シテ之ヲ布告スルモノナリ然レトモ往往一國ハ自ラ戰時禁制品ニ關スル國法ヲ發シ之ニ依リテ外國ヲ拘束セント企ツルコトアリ即チ自國ノ定メタル所ヲ中立國ニモ遵奉セシメント企ツルコトアリ又實際其國ノ勢力如何ニ因リテ實行セシメタル例ナシトモ是レ濫用ナリ何トナレハ一國ノ國法ニ於テ戰時ニ關スル國際法上ノ規則ヲ定ムルコト能ハナレハナリ此ニ第一ニ述ヘサルヘカラサルハ和蘭カ曾テ航海ニ勢力ヲ有セシ時即チ千六百七十年ニ法律ヲ發シ戰時禁制品ノ種類ヲ定メタリ是レ最モ廣クシテ今日ノ趣旨ニ反スルモノナリ即チ其規定ニ依レハ第一ニ凡テ船舶ノ製造大修繕及ヒ武裝ニ必要ナル物ナル以上ハ木材鐵膠麻布ヲ問ハズ皆戰時禁制品ト爲シ隨テ之ヲ沒收スヘキモノトセリ然ルニ至リ和蘭ハ海上ノ勢

カヲ失ヒタルヲ以テ又他國ノ如ク武器及ヒ彈藥等ニ限ルト爲セリ然ルニ他國ニ於テハ彼ノ露國ノ兵力中立ノ條約ニ在リタルモノヲ法律ト爲シタルモノ多シ例ヘハ瑞典埃阿國其他ノ如キ是ナリ茲ニ注意スヘキハ埃阿國カ自國ノ法律ニ於テ戰時禁制品ト稱スル物ト交戰國自身カ定メタル戰時禁制品ト併セテ戰時禁制品ト云フコトヲ得トシタルコト是ナリ而シテ實際上ニ於テハ彼ノ英國ノ如キハ此說ヲ唱ヘ自國ノ定メタル原則ヲ總テノ國ニ強行セント企テタルナリ然レトモ是レ元來條理ニ適セズ又英國ニ於テハ他國ノ如ク自國ノ法律ヲ以テ如何ナル物カ戰時禁制品ナルヤヲ明定シ置カズ是レ畢竟戰時場合ト因リ戰時禁制品ノ何物ナリヤヲ定メントスルノ趣旨タルナリ即チ自國ガ戰争ヲ爲シ又ハ外國ニ戰争アル時ニハ彼ノ樞密院令ヲ以テ之ヲ定メントスルモノニシテ其時ト場合トニ應ジントスルモノナリ隨テ判決例ニ於テモ其探ル所ノ原則ニ定メズ時時變更セテ又同一ノ抽獲審檢所ノ裁判官ニテモ時トシテ其判決ノ原則ヲ變セタルヘカクナルニ至リ殆ト一定スルコトナシ尤モ英國ノ學者ハ成ルニク之カ原則ヲ違テシトスルモ未タ行ハズト云フ等ノ說ニ依ルモ又不

確實ナリ然レトモ概シテ之ヲ云ヘハ英國ノ實際ハ禁制品ノ範圍ヲ廣クセリトモ
 ナリスノ述フル所ニ依ルモ戰爭ノ一切ノ器械及ヒ必要品武官ノ武裝ニ必要ナ
 ル物品又ハ純粹ナル軍需品ニ非サルモ殆ト軍用ニ專用セラレル物例ヘハ硫
 黃硝石其他軍器ヲ作ル器械及ヒ彈藥ヲ製造スル器械等皆之ヲ沒收ストセリ是
 等ハ可ナリ然ルニ英國ニ於テハ果シテ戰爭ニ供スルヤ否ヤ疑ハシキ物即チ戰
 時ニモ平時ニモ用フル物モ之ヲ沒收ストセリ如何ニシテ斯ク區別セシヤト云
 フニ其港ニ於テ敵ノ根據地ニ平素此ノ如キ物ヲ積ミ出スモノナレハ可ナルモ
 然ラサレハ禁制品ト爲ストセリ此他麥麵飽紛米(ビスケット)鹽干物酒類等ノ如
 キモ軍用品ト看做サルモノナレハ是レ亦戰時禁制品ト爲ストセリ要スルニ
 英國ハ自己ノ政權ヲ主トシ議論トシテハ毫モ貫徹セタル所ナレ會テ他國ヨリ
 之ニ付キ條約ヲ爲サント求メラレタルニ遂ニ之ニ應セザリシ今日ニ於テモ多
 クハ亦然リ

佛國ハ如何佛國ハ商業ノ自由ヲ主義トシ其國法トシテ定メタル所ニ依レハ戰
 争ニ特別ナル物ヲ禁スルノ主義ヲ探レリ即チ第一武器其他彈藥ノ如キ軍用品

他言ヲ要セサルモノノ如シテ其國法トシテ定メタル所ニ依リ自由ヲ
 抑モ此ノ如キ警察の法律上ノ思想ヲ嚴格ナル形式ヲ以テ表ハサントスルコト
 ハ到底不能ノ行爲タルヲ免レズ是レ法治國カ徒ニ嚴格ナル形式ニ依リ自由ヲ
 保護セントスルノ誤解ニ出テタルモノニモテ警察ノ根本性質ノ何物タルヲ誤
 解スルニ基クモノナリ即チ臣民ノ當然警察權ニ服從スヘキ自然の義務ノ存在
 ハ警察權ノ基礎ニ明解ヲ與フルモノナリ而シテ先ニ定義ニ於テ論シタル強制
 ノ如キモ彼ノ一般ニ臣民ノ安寧ヲ障害スヘカラサル自然の義務ヲ行フ爲メニ
 之カ用ヲ爲スモノナリト謂フヘシ然ルニ世人往往此單純ナル見解ニ對シ種種
 人工的ノ見解ヲ試ミントスルハ非ナリ是レ畢竟古昔因襲ノ久シキ義務の觀念
 ヲ故ラニ新ナル形式ニ於テ言ヒ表ハサントスル誤解ニ出ツルモノナリト謂フ
 べレ

第九章 警察權ノ範圍

警察權ハ先ニ論シタル一般臣民義務換言スレハ其ノ安全ニ對スル妨害ヲ除

去スヘキ義務ニ對シ國家カ之ヲ履行セシムルニ在リ警察權ノ效力ハ法治國ノ形式ニ於テハ種種詳シク規定セラルルモノナリ然レトモ彼ノ所謂自然法的基本能力之ニ對スル分量及ヒ方針ヲ示スモノナリ即チ其所謂基礎ナルモノカ法規ノ活動スヘキ範圍ヲ示スモノニシテ其義務ノ性質ヨリシテ立法上警察權ノ法律的范围ヲ定ムヘキモノナリ

臣民カ國家ニ於テ自ラ障害ヲ避クヘキ義務アルハ何故ナリヤ又警察ハ何故ニ其危害ヲ除去スヘキ責任アルヤ余輩ハ之ニ對シ單ニ公共ノ善良ナル秩序ナル言葉ヲ以テ之ヲ概括セントス

國家ハ人類社會ノ爲メニ其共同生活ヲ保護スルノ責任ヲ有ス然レトモ臣民ノ生存スヘキ生活團體ハ頗ル廣漠ナルモノニシテ團體ノ力ハ即チ國家ノ力ヲ作成シ團體其者ハ實ニ國家ト密接ノ關係ヲ有スルモノナルコトハ此ニ論ヲ埃クナルナリ而シテ此ノ如ク人類社會ハ即チ共同團體ナルヲ以テ箇人相互間ニ公益ニ關シ相侵ストキハ共同生活ト相容レサルコトアリ然レトモ箇人カ社會的一員ノ位置ニ在ラサルトキハ比較的公共上ノ意義ヲ有スルコト甚タ少キナリ

前章ニ於テ國家ノ定義ヲ論スルニ當リ述ヘタルカ如ク國家ト臣民トノ關係ハ不平等關係ニシテ箇人相互間ノ如キ平等關係ニ非ズ左レハ國家ハ其警察權ヲ行フニ當リテハ其權力ニ依リ安寧秩序ヲ維持スヘキモノナルカ故ニ何カ公共ノ安寧ナルキヤノ問題ハ國家ノ宜シク自ラ決スヘキモノニシテ當事者タル國家若クハ一箇人ノ外ニ於テ局外者タル裁判所カ之ヲ定ムヘキ性質ノモノニアラサルナリ然レトモ一般原則トシテ警察權ノ範圍ヲ論スルニ當リ注意スヘキコトハ先ニ論シタル社會ニ起ルヘキ障害ヲ與フヘキ總テノ生活ハ必スシモ盡ク警察ノ關係スヘキ性質ノモノニアラサルナリ

箇人ノ社會的生存ハ人類社會全體ニ對シ同時ニ其效果ヲ及ホスヘキモノニシテ箇人ノ自ラ行ヒタル有害ナル事柄ハ偶々以テ社會ニ對シ損害ヲ與フルモノナリ之ニ反シテ箇人カ社會ノ範圍外ニ於テ行ヒタル事柄ハ社會的の危害ニアラサルナリ是ヲ以テ私ノ生活上ノ意義ハ社會ニ關係セサル以上ハ警察ノ干渉スヘキモノニアラサルナリ而シテ何カ箇人の生活ナルキヤノ問題ハ之ヲ慣習ニ依リ事實ニ徴シ決スヘキナリ蓋シ一般ニ私ノ生活上ノ範圍ハ其大部分ハ私上ノ習

價ノ範圍ト一致スルモノナリ概シテ家屋内ニ於テ生スル事柄ハ公安上ノ事柄ニ對シ效果ヲ及ホスヘキモノニアラス故ニ嚴格ナル區別ハ同一ナル事柄ヲ行フトスルモ大體ニ於テハ場所ニ於テ之ヲ判斷スヘキナリ例ヘハ生命ニ對シ危險ノ虞アル家屋内ノ天井ノ如キハ住宅内ノ事ニ屬シ警察ノ立入ルヘキモノニアラサルモ道路ニ面シテ物品ヲ裝置スル場合ニハ警察ニ宜シク干渉スヘキナリ然レトモ家屋ノ内部ト雖モ公衆ノ通行上ニ關係セル以上ハ警察ノ干渉ヲ受クヘキモノトス例ヘハ勸工場ノ階段ニ點火ヲ命スルハ公衆ノ安全ヲ圖ルニ在ルモ箇人ノ住宅内ニハ公衆ノ交通ニ關係セサルカ故ニ警察ハ之ニ立入ルノ必要ナキナリ

箇人カ私上ノ生活ニ於テ損害ヲ與フヘキ總テノ事柄ハ悉ク之ヲ公共ノ善良ナル秩序ヲ害スヘキモノト認ムヘカラス換言スレバ箇人ニ對テ一定ノ自由ノ範圍此ニ存在スルモノナリ蓋シ人類共同生活ニ於テハ各箇人ハ多少社會公衆ノ者ニ對シ損害ヲ與フヘキコトアルハ數ノ免レサル所ナリ而シテ此場合ニ於テ箇人ノ自由ヲ制限セサル所以ハ此ノ如キ障害ヲ除去スルハ箇人ノ社會的義務

ニアラサルカ故ナリ何トナレハ箇人ノ自主權ヲ尊重スヘキコトト社會ノ公益ヲ維持スヘキコトトハ兩兩相待チテ此ニ始メテ臣民ハ其堵ニ安スヘキナリ此點ハ諸君ノ殊ニ尤モ注意スヘキ所ナリ

警察權ハ私權ノ保護トシテ民法上ノ不法行為ニ對シ干渉スルコトヲ得ス左レハ偶マ此等ノ點ニ干渉スルコトアリトスルモ是レ其皮相ノ見解ヨリシテ之ヲ混同スルモノニシテ警察ハ其實善良ナル秩序ヲ維持スルヲ主眼トシテ其行動ヲ爲スモノナリ現時ニ於テモ私法上ノ關係ニ於テハ公益ニ對スル重ナル部分ハ雇人口入規則等ノ法文ニ於テ之ヲ見ル蓋シ此等ノ場合ニハ警察ハ危險ヲ防ク目的ニ依リ公益上ヨリ之ヲ保護セルモノニシテ民法其物ヲ保護スルノ精神ト自ラ其趣ヲ異ニス千八百八十一年三月二十六日普瀟西上級行政裁判所ノ判決例ハ警察官廳カ雇主ニ命シテ其解雇セル奴婢ノ遺留セル物品ヲ返却セシメタルコトニ對シ否認ノ決定ヲ爲セリ蓋シ警察ハ唯危害ニ對シテ保護スヘキモノニシテ損失ニ對シテハ干渉スヘキモノニアラサルナリ

經濟上及ヒ精神上ニ有益ナル企業ハ概テ其所有者自己ノ處分權ニ屬スヘキモ

ノニシテ警察ノ範圍ニ屬セサルモノナリ然レトモ又或企業ニ至リテハ然ラザル場合アリ即チ公益ノ用ヲ爲ス爲メニ定メラレタルトキ是ナリ故ニ公共ノ善良ナル秩序ニ關係シ又公益ノ障害ニ對シテ除去スル場合ニ於テハ經合箇人ノ企業ニ屬スルト雖モ此ニ始メテ警察ノ問題ヲ生スヘキナリ換言スレハ箇人ノ企業及ヒ私ノ所有權カ公共ノ利益トシテ認メラルルノ場合ニ於テハ公共ノ善良ナル秩序ノ爲メニ警察上ノ保護ヲ所有者自身ニ對シテ與フルモノナリ即チ鑛泉及ヒ森林等ノ場合はナリ此ノ如ク森林ニ於ケル警察上ノ保護ヲ所有者ニ對シテ行フヘキ理由ハ一般ノ觀察點ヨリ之ヲ説明スヘキナリ何トナレハ森林ハ社會的ノ秩序ヲ維持スヘキ價值アル部分ニ屬シ公共ノ用ヲ爲スヘキ財産トシテ公共ノ營造物ノ種類トシテ視ルヘキモノナレハナリ

右余ハ立法上ヨリ警察ノ範圍ヲ論シタリ尙ホ如何ナル事項ハ法律ヲ以テ規定スヘキヤ否ヤノ問題ニ付テハ警察法ト憲法トノ關係ヲ述フルニ當リ之ヲ論述スルコトアルヘシ

第十章 警察ト内務行政トノ關係

學理上内務行政ノ意義ヲ解スレハ一般ニ臣民ノ安寧幸福ヲ保ツ爲メニスル行爲ナリ我憲法第九條ニ所謂公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及ヒ臣民ノ幸福ヲ増進スルトハ此義ニ外ナラス左レハ此ニ所謂内務行政トハ我官制上ニ於ケル意義トハ自ラ異ナリ農商務遞信文部等ノ行政ヲモ廣ク含有スルモノナリト知ルヘシ

警察ハ内務行政中最モ必要ナル部分ナリ左レハ今此ニ内務行政ノ意義ニ付テ論述スルハ敢テ無益ノ業ニアラサルヘシ古ノ國家ニ於テハ唯安寧ヲ保持スルヲ以テ最大ノ職掌ト爲シ隨テ先ニ述ヘタル如ク警察ナル文字ヲ以テ行政ノ意義ト爲スニ至レリ然レトモ今ヤ國家ハ臣民ノ發達ニ意ヲ用ヒ警察ニ對スル外尙ホ積極的方針ヲ認ムルニ至レリ

抑モ孤立單獨ハ天理ニ反シ共同生活ノ人生ニ缺クヘカラサルハ此ニ喋喋ヲ要セサル所ナリ而シテ國家ナル團體ハ其共同生活ヲ爲スニ於テ最モ有力ナルモノニレテ箇人ノ發達上ニ於テモ又之ニ若クモノナシ然レトモ箇人カ國家ノ必

警察國家時代ニ於テハ行政トハ唯權力ノ適用ノミニ止マレリ換言スレハ行政ト云ヘハ必ス國權ノ動作タルコトハ終始異ナラスト雖モ國家カ一箇人ニ人格アルコトヲ認メ之ヲ自主自立ノ主體ト認メテ國權ノ働ノ外ニ箇人カ自主ノ權能ニ依リテ自己ノ利益ヲ主張シ全クシ得ルコトヲ認ムルト否トニ依リテ行政ノ主意ニ於テ大ナル差異ヲ來セリ左レハ警察國家ノ時代ニ於テハ總テ政府ノ爲スコトハ皆政府國家ノ安寧秩序ノ爲メニシテ總テ權力ノ屬シ又箇人ノ權能ヲ法律上ニ認メサルカ故ニ政府ハ自ら命令ノ權力ヲ用ヒテ之ヲ爲スノ外箇人ニ權能ヲ認許シ其自由ヲ保護シ權能ノ付與ト自由ヲ保護トニ依リテ社會ノ福利ヲ増進スルノ意思ナシ故ニ政府カ箇人ノ福利ヲ増進セント欲セハ之ヲ政府ノ利益トシテ政府カ自ら命令權ヲ以テ之ヲ爲スノ外ハ人格權能及ヒ自主ノ自由ヲ認許シテ其人格ヲ保護スルコトニ依リテ以テ社會的ノ福利ヲ全クセシムルト云フコトナシ換言スレハ所謂警察ノ範圍ハ汎ク國家自衛ノ爲メニ安寧秩序ヲ防キ守ルコトト社會的ノ私ノ幸福ヲ全クスル爲メニ公ノ權力ヲ動作スルコトト主義ニ於テ區別ナカリシナリ然ルニ所謂法治國ノ觀念ニ於テ

ハ内務行政ノ範圍ニ於テ箇人ノ人格ト權利トヲ認メ内務行政ノ目的ハ國權カ直接ノ行動ニテ公共ノ安寧秩序ヲ保持スルコトト又國法ノ認許スル箇人ノ人格自由ヲ保護スルニ由リテ社會的福利ヲ増進スルコトト二種ノ方法アルニ至レリ是ニ於テ自ら警察ト云ヘル行爲ノ範圍カ行政ノ一部ヲ示スノ意義ト爲リ他ノ内務行政ノ範圍ト區別シテ觀念ヲ成スニ至レリ(政社學博士行)警察ハ其機關ノ組織ヨリ云フトキハ官制上ノ内務行政ニ屬スルモノノ如シ即チ明治二十六年十月發布ノ内務省官制第一條ニ依レハ内務大臣ハ警察ニ關スル事務ヲ管理シ警視總監北海道廳長官及ヒ府縣知事ヲ管督ス府縣ノ警察事務ハ府縣知事ノ監督ノ下ニ屬ス然レトモ此外形ハ未タ以テ警察ノ實質上ノ系統ヲ示スニ足ラサルナリ而シテ之ヲ知ルハ唯其事務ノ如何ヲ見ルニ在ルノミ先ヨ警察ノ分類ヲ論スルニ當リ述ヘタル如ク高等保安警察トハ國家ノ安寧ヲ目的トスルモノニシテ其性質上内務ノ系統ニ屬スヘキモノナリ警視廳官制第七條ヲ按スルニ警視總監ハ高等警察事務ニ付テハ内閣總理大臣及ヒ内務大臣ノ指揮監督ヲ受クテアリ而シテ所謂各省ノ主務ニ關スル警察事務ニ付テハ各省大

臣ノ指揮監督ヲ受クルトハ主トシテ行政警察ニ付テ之ヲ云ヒ内務大臣ノ掌代
 所ハ主トシテ保安警察ヲ指シ衛生警察ノ如キ宗數警察ノ如キ行政警察ニ屬ス
 ヘキ事柄モ亦之ニ屬スルコトナリ

此ノ如ク警察ノ職務ハ内務行政ノ範圍内ニ在ルヲ以テ警察ノ機關ハ又内務行
 政ノ一機關タルヘキヲ原則トス然ルニ學者或ハ説ヲ爲ス者アリ曰ク警察ハ内
 務行政ノ一部ニアラスセテ國家行政ノ全體ニ通スル一部ナリ其意ニ曰ク警察
 總監ニシテ單ニ内務行政ノ機關タルニ過キサルモノナラレムハ内閣總理大臣
 及ヒ各省大臣ノ指揮監督ヲ受クヘキ理由ナク又東京以外ノ府縣ニ於テモ單ニ
 内務大臣ノ指揮監督ヲ受クルニ止マラス政府全體ノ監督ヲ受クヘキモノナレ
 コト現行地方官制第六條ニ明カナリト(警察官制第二條第 然レトモ余輩ノ論究
 ノ結果ニ依レハ監視總監ハ經令各省大臣ノ指揮ヲ受クルコトアリトスルモ警
 察ハ内務行政ノ範圍ニ屬スルト云フノ點ニ望リテハ何等ノ牴觸ヲ見サルナリ
 蓋シ彼ノ説ハ機關ノ外形ニ據リテ論斷セルモノニモテ學說上警察ハ内務行政
 ノ一部ナリト云フハ此ノ如キ見解ヲ以テスルニテナラザルナリ

外國人取締ニ付テハ外務省ノ管轄ニ屬スヘキニ拘ラス往往其中ニ内務行政中
 ニ屬スヘキ事ヲ含ムコトアリ然ルニ尙ホ之ヲ以テ内務行政ノ全體ニ通スル一
 部ナラトスルニ至リテハ一見奇怪ナルニ似タリト雖モ所謂内務行政トハ官制
 ノ形式ニ付テ之ヲ言フモアラサルカ故ニ官制上外務省ノ行フヘキモノト否ト
 ナ同ハサルモノナリ蓋シ外務行政トハ外交ノ行爲ニ付テ之ヲ言フノ左レハ
 外務省ノ爲スヘキ行政事項中ニ於テ内務行政ノ範圍ニ屬スヘキ警察ノ行政ヲ
 含ムコトアルハ毫モ怪シムニ足ラサルナリ

第十一章 警察ト司法トノ關係

余ハ警察ト司法トハ區別ヲ論スルニ當リ一言司法ト内務行政トノ關係ヲ述ヘ
 シト司法ト内務行政トハ國家ノ安全ト維持トヲ間接ノ目的トスレトモ其機
 關ノ直接ノ働及ヒ直接ノ目的ハ私權ノ安固ト社會ノ秩序幸福トヲ全クスルニ
 在リ然レモ警察ハ私權ノ安固トモ社會ノ秩序幸福トモ其關係ヲ有スルコト
 司法ト内務行政トハ其國民ノ權利ヲ保護ヲ目的トスル點ニ於テハ相同シ然

レトモ更ニ司法ト内務行政トヲ區別スル所以ハ之ヲ保護スル形式ニ於テ異ナルカ爲メナリ司法ハ法則ヲ適用スルコトニ依リテ私權ヲ保護シ刑罰ヲ裁斷シ以テ安寧ヲ保ツナリ公ノ秩序ト利益トヲ經理スルニアラス警察ノ如ク法令ノ範圍内ニ於テ秩序ト利益トヲ維持スルニアラスシテ法則ニ違ヒタル行爲ヲ訴訟ノ方法ニ依リ審判スルナリ

司法ニ於テハ法其物カ終局ノ目的ニシテ法ヲ利用シテ他ノ目的ヲ達スルニアラスシテ法ヲ適用スルコト即チ司法タリ之ニ反シテ警察行政ハ法令ノ範圍内ニ於テ自由行爲ヲ爲スモノナリ之ヲ要スルニ警察行政ハ法令ノ範圍内ニ於ケル自由ノ活動ナリ然ルニ古昔ニ於テハ往行政トハ司法ノ如ク法律ノ執行ナリトセリ故ニ往行政權ト稱スル名稱ニ代フルニ執行權ナル名稱ヲ以テセリ保安警察ノ性質タル概括的ニ公共ノ秩序ヲ危險ニ對シテ防禦セサルヘカラス然ルニモール氏ハ之ヲ以テ司法ノ一部ト爲シ所謂豫備司法ト稱スルニ至レリ然レトモ司法ト警察トハ其目的ノ區別ニアラスシテ目的ヲ行フニ付テ原則上異ナル所アルニ由ルナリ

監獄官吏ハ官吏服務紀律ノ規定ニ依リ

- (一) 天皇陛下及ヒ天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡シ
- (二) 職務ニ付キ本局長官ノ命令ヲ遵奉スヘク但シ其命令ニ對シ意見見テ違フルコトヲ得
- (三) 職務ノ内外ヲ問ハス廉耻ヲ重シ汚行ヲ禁シ威權ヲ濫用セス謹慎懇切ナルコトヲ務メ
- (四) 官司ノ機密ヲ恪守シ亦同職ノ後
- (五) 本局長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及ヒ職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス
- (六) 許可ナクシテ營業會社ノ社長又ハ役員ト爲ルコトヲ得ス
- (七) 許可ナクシテ其職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀其他ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
- (八) 職務上關係アル者ノ選任ヲ受クルコトヲ得ス
- (九) 自己及ヒ家族ハ許可ナクシテ商業ヲ營ムコトヲ得ス

監獄法 監獄官吏ノ一般職務

(七) 取引會社ノ社員タルコト及ヒ間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス

(八) 許可ナクシテ本職ノ外有給ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

(九) 浪費及ヒ過分ノ負債ヲ爲スコトヲ得ス

等ノ職務ヲ有ス監獄ノ職務ハ其性質上勤モスレハ輒チ社會ノ疑惑ヲ招致シ易

キ傾向ヲ有スルモノナルカ故ニ之カ官吏タル者ハ須ク一層慎重ナル注意ヲ以

テ服務紀律ヲ恪守スルノ警戒ナカルヘカラス

看守ニ對シテハ其採用ノ際特ニ左ノ諸件ヲ宣告シ尙ホ誓書ヲ徴シテ之カ恪守

ヲ宣誓セシム

- 一 看守タル者ハ官吏服務紀律ヲ恪守スヘキハ言ヲ竣タス常ニ上官ノ命令ヲ遵守シ勤務中ハ勿論勤務ニ服セサルトキト雖モ政治ノ是非得失ヲ論評スルカ如キコト決シテアルマシキ事
- 一 看守タル者ハ在監人ト相狎昵スルカ如キコトナク職務上ニ於テ負擔スル百般ノ責務ハ最モ嚴正忠實ニ之ヲ踐行スヘキ事
- 一 看守タル者ハ一旦奉職ノ上ハ他念ナク職務ニ從事シ一身ノ故ヲ以テ辭

職スルカ如キコト決シテアルマシキ事

一 看守タル者ハ自身ハ勿論家族ニ至ルマテ専ラ品行ヲ正シテ監獄官吏

タリ又其家族タル體面ヲ汚損スルカ如キ所業決シテアルマシキ事

其提出スル所ノ誓文ニ曰ク典獄ノ面前ニ於テ

誓文

今般何(集府監)看守志願仕候ニ付御採用ヲ蒙ルニ於テハ官吏服務紀律ヲ恪守仕ルヘキハ勿論在監人ニ對シテ決シテ相狎昵スルカ如キコトナク總テノ法律命令ヲ遵守シ職任上百般ノ責務ハ嚴正忠實ニ踐行仕ルヘク又一身ノ故ヲ以テ自ラ職務御免相願候様ノ儀決シテ無之且ツ自身ハ勿論家族ニ至ル迄品行方正ニ相保テ監獄官吏タリ又其家族タル體面ヲ汚損致シ候様ノ所業決シテ仕ルマシク仍テ誓文如件

明治 年 月 日 某 大 官 實印

監獄官吏殊ニ在監人ニ直接接近スル所ノ看守長以下總テノ戒護吏員タルヘキ者ハ其身ヲ持スルコト最モ廉潔方正ニ其職務ヲ執行スルコトニ嚴肅純直ナ

ルヲ要ス廉潔且ツ方正故ニ能ク其威嚴ヲ全クシ嚴肅且ツ純直故ニ能ク罪囚ヲ
畏服反省セシムルコトヲ得ヘシ所謂嚴肅トハ苛虐ヲ謂ニアラス純直亦親昵ノ
謂ニアラス或ハ苛虐ニ涉リ親昵ニ陷ルハ職務上過失ノ最大ナルモノナリト
謂ハサルヲ得ス

上官ニ對シテハ從順ヲ旨トシ同僚ニ對シテハ和衷ヲ專トスヘシ上官ノ命令ニ
抗抵シ同僚相反目スルカ如キコトノ重過失タルハ固ヨリ言フヲ決タス然レト
モ亦刑法其他監獄全體ノ利益ノ爲メ適當ト信スル所ノ意見ハ躊躇スル所ナク
上官ニ對シテ之ヲ開陳スルヲ得ヘク否之ヲ開陳セサルヘカラサルノ義務ヲ有
ス且ツ又同僚中其汚行醜爲ノ監獄者トハ官吏ノ面目利害ニ關スヘキモノアリ
ト認メタル場合ニ於テハ猶豫ナク其事實ヲ上官ニ具申スルヲ要ス隱蔽スル者
ハ則チ職務冒瀆ノ過失タルヲ免レス
監獄官吏タルヘキ者ハ如何ナル場合ニ論ナク又如何ナル事情アルヲ問ハス決
シテ在監人ト私交ヲ結フカ如キコトアルヘカラス蓋ニ在監人ト談話ヲ交ヘ悉
ニ自家ノ用務ニ罪囚ヲ使役スルカ如キハ是レ亦私交ノ一トシテ見ルヘキナリ

酒飲ハ最モ之ヲ制限スルヲ要ス如何ナル場合ニ論ナク決シテ酒氣ヲ帶ヒテ勤
務ニ従事スルカ如キコトアルヘカラス醉態ヲ街路ニ露ハスコト又過失ノ一タ
ルヘシ職務緘黙ノ義務ハ最モ之ヲ遵守スヘシ
監獄官吏殊ニ工場擔當ノ看守ハ成ルヘク其部内ニ於テ施行スル所ノ作業ニ通
曉スルノ義務ヲ有ス蓋シ自ラ通曉スル所ナクシテ他ヲ督勵スルコト到底得テ
爲シ得ラルヘカラサルコトナルヲ以テナリ

(2) 服制

看守長及ヒ看守ハ勤務ニ際シ制服ヲ着用スルノ義務ヲ有ス
典獄書記其他戒護吏員ニアラサル監獄官吏ハ總テ制服ヲ着用スルノ義務ヲ有
セス然レトモ其勤務ニ際シテハ成ルヘク通常禮服タルフロックコート若クハモ
ーニングコートヲ着用スルノ注意アルヲ要ス
各國ノ獄制ニ據リテ之ヲ觀ルニ多クハ總テノ高級官吏ヲ以テ制服ヲ着用スル
ノ義務ヲ負ハシムルモノノ如シ普國ニ於テハ司法部所轄ノ監獄官吏ハ總テ制
服ヲ着用スルノ義務ヲ有スルモ之ニ反シテ内務省所轄部内ニ在リテハ敢テ之

ヲ強制セシ蓋シ該部内ニ於ケル所ノ監獄官吏ハ多ク士官出身ノ者ナルカ故ニ
 常ニ整然タル服裝ヲ保ツニ馴レ以テ能ク紀律の外觀及ヒ執務ヲ全ウシ得ル所
 アルヲ以テナリ監獄ハ紀律ノ府ナリ其動作スル所ハ徹頭徹尾總テ紀律的ナル
 ヲ要ス是レ即チ監獄官吏制服ノ必要アル所以ニシテ其及ホス所ハ唯リ看守長
 及ヒ看守ノミヲ以テ足レリト爲スヘカラス監獄ノ主長タル典獄ハ言フヲ埃タ
 ス書記其他ノ吏員教師若用セルハト雖モ亦之ヲシテ盡ク一定ノ制服ヲ着用セリ
 メスンハアルヘカラス予嘗テ典獄制服ノ必要ヲ論シテ曰ク

(前略)

監獄ハ紀律ノ府ナリ。整然タル社會ノ秩序ヲ紊リ嚴乎タル國家ノ法規ヲ蔑
 如シタル者ヲ懲懲改良シテ正路ノ民ニ復歸セシムルヲ期スルモノハ即チ監
 獄ノ要務ナリ(中略)之ヲ導化スルノ法ハ唯監獄ヲ以テ滿目皆是レ肅然タル紀
 律的ノ境遇ト爲シ一舉手一投足モ渾テ嚴正ナル紀律ノ命スル所ニ服行シ外
 部ノ必要ニ迫ラレテ終ニ本心ノ懺悔ヲ惹起スニ至ラシメ知ラズ識ラスノ間
 ニ於テ命令服従ノ習慣ヲ馴養シ此習慣ヲシテ終ニ第二ノ天性タラシムルニ

在リ紀律ヲ以テ人ヲ導カント欲スレハ先ツ己ヲ紀律ノ位置ニ置カシムルハ
 ルヘカラス躬ヲ以テ嚴正ナル規律ノ模範タラシムルコト必要ナリ制服ノ紀
 律ニ關係アルコト決シテ尠少ニアラス彼ノ兵卒ヲシテ制服ヲ着用セシムル
 所以ノモノハ何ソヤ看守巡查ヲシテ兵裝セシムル所以ノモノ何クニ在ル之
 ヲ率フル士官警部看守長ノ制服ヲ設ケル果シテ何ノ必要アルカ將校若クハ
 警部長ヲシテ凜然整然タル一定ノ制服ヲ着用セシムル所以ノモノ果シテ何
 等ノ必要カアル是レ豈ニ至正至嚴ナル紀律ヲ保維センカ爲メナルニアラス
 ヤ典獄ハ實ニ監獄ニ於ケル所ノ將校ナリ然ルニ彼ニ必要アルモノ獨リ此ニ
 必要ナキノ理アラシヤ況ヤ嚴肅ナル紀律ヲ必要トスルノ監獄ニ於テヲヤ若
 シ夫レ將校ニシテ羽織袴ヲ著シ若クハ春廣モ一ニングコートノ類ヲ著ケテ
 軍術威ハ軍隊ニ臨ムコトアリトセンカ恰モ是レ首腦ヲ屏去シタル形骸ノ如
 クアシモ整然タル軍隊ノ紀律モ忽チ之カ爲メニ墮亂セラレ少クモ活動ノ生
 氣ヲ滅却スルニ至ルヘキハ論ヲ埃タス(中略)況ヤ我國ニ於ケル典獄ノ多クハ
 未ダ嚴肅ナル軍紀上ノ訓練養成ヲ經タルモノニアラサルニ於テヲヤ典獄ノ

服制ヲ設クルコト實ニ目下焦眉ノ急務タラスンハアラスニ
 紀律ト慈愛トハ衝突セス 典獄ヲシテ制服ヲ著ケルムルトキハ慈愛ノ要素
 ハ紀律ノ爲メニ渾化セラレテ終ニ其痕跡ヲ止ムル能ハサルニ至ルヘシトハ
 反對論者ノ主張スル所ナリ然レトモ是レ謂レナキノ杞憂ノミ上官制服ヲ著
 タルカ爲メニ慈愛ノ要素ヲ滅却スヘシトナラハ彼ノ軍隊ナル一團結ハ渾テ
 是レ殺伐殘戾ノ空氣ヲ以テ滿タナレシムルハアルヘカラス彼ノ温乎タル良民
 ノ保護者ヲ以テ以テ任スル警察官吏ノ如キモ亦殺氣凜然近クヘカラサル暴
 虎憑河ノ一類タラスンハアラス何トナレハ之ヲ綜該統督スル將校若クハ警
 部長ハ制服ヲ著ケタル殺伐無慈悲ノ人タルヘキヲ以テナリ是レ豈ニ事ノ實
 相ニ適シタルモノナランヤ三才ノ童子ト雖モ向ホ能ク之ヲ判定スルヲ得ヘ
 シ然ルニ獨リ監獄ノ長官タル典獄ヲシテ制服ヲ著ケルムルトキハ終ニ其和
 順ノ性質ヲ變シテ殘暴ニ至ラシムヘシトハ是レ豈ニ典獄ヲ小兒視シタル不
 敬ノ妄論ナルニアラスヤ(中略)且ツ今ノ時ニ方リテ監獄ノ爲メニ憂フル所ハ嚴
 正ニ失スルニアラスンテ寧ロ優柔ニ過タルニ在リ慈愛分子ノ缺乏ニアラス

シテ剛毅分子ノ稀少ナルニ在リ之ヲ矯正スルノ手段トシテ幾分カ剛毅嚴正
 ニ傾クノ方法ヲ探ルコト固ヨリ不可ナリトセス若シ假ニ此傾アリトセハ(中
 略)監獄ニ於テ慈愛分子ノ必要ナルコト勿論ナリト雖モ其愛ヤ公正明白ニシ
 テ且ツ普及ナラサルヘカラス此愛ハ即チ所謂嚴正ノ要素ニシテ換言スレハ
 愛ハ嚴正ノ外ヲ出テスト謂フヲ得ヘシ嚴正ハ即チ整然タル紀律ノ内ニ在リ
 テ活動スルヲ得ヘシ紀律ヲ離レテ嚴正ナシ嚴正ノ外ニ一ノ愛モ存在セザル
 ナリ故ニ曰ク紀律ト慈愛トハ毫モ相衝突スル所ナシト
 臬獄ハ文武兼攝ノ官職ナリ 典獄ハ戒護ト庶務ノ上ニ立テテ監獄全體ノ管
 理ヲ綜攝統督スルノ職權ヲ有スルコト論ヲ埃タス然レトモ文武兼攝ノ職務
 ナルカ故ニ固有ナル制服ヲ要セスト謂フニ至リテハ其理由ノ在所ヲ知ル
 ニ苦シマナルヲ得ス戒護ト云フモ庶務ト云フモ其監獄事務タルニ於テハ則
 チ一ナリ獨リ戒護ニ紀律ヲ必要トスルモ庶務ニ紀律ヲ要セザルノ理アラナ
 ルナリ之ヲ一方ニ缺クトキハ終ニ全體ノ紀律ヲ擾亂スルニ至ルヘキコト理
 ノ最モ親易キ所ナリ治獄ノ本體ヨリ之ヲ言ヘハ庶務モ亦戒護ノ事務ニ關與

シ遇囚ノ事項ニ密接ノ聯絡ヲ保タサルヲ得ス然ラハ則チ之ヲ統督スル典獄ヲシテ紀律ノ中心タラセサルヘカラサルコト亦明カナリ利劍ヲ握ルノ手ヲ以テ宜ク毛管ヲ把ラシムヘシ庶務ヲ料理スルノ敏捷銳利ナルコト須ク彼ノ利劍ヲ以テ物ヲ裁斷スルカ如クナラシムヘシ

外國ニ類例ナシト謂フハ誤謬ナリ 外國類例ノ有無ハ深ク問フヲ要セザル所ナリ縱令類例ナキモ我ニ於テ其必要ヲ感スル上ハ之ヲ實行スルニ何ノ躊躇スル所カ之アラン況ヤ各國到ル處尙モ獄制ノ完備ヲ以テ稱セラルルノ國ニシテ典獄服制ノ規定アラサルハナキニ於テヲヤ獨リ此規定ナキモノヲ普國內務大臣ノ管理ニ屬スル監獄ト爲ス蓋シ之カ規定ヲ設ケサル所以ノモノ偶然ニアラス典獄ヲ始メ上等司獄官ノ列ニ伍スル所ノ者ハ殆ト皆嘗テ多年職ヲ軍事ニ奉シタルノ人ニアラサルハナク秩然タル軍紀ハ既ニ業ニ其骨髓ニ徹シテ訓練養成セラレタルモノナルカ故ニ縱令制服ヲ著ケサルモ之カ爲メニ一步モ紀律ノ範圍ヲ越ユルカ如キコトアラサルヲ以テナリ(中略典獄服制ノ規定アラサル所以ノモノハ單ニ前記ノ如キ理由ノミニニアラス全ク歴史

上ノ關係即チ愛憐主義ノ遺物タラスンハアラス現行内務所轄ノ監獄制度ノ編制ニ與リテ最モ力アリシ者ヲ前ノ「モアビート」ノ典獄某氏ト爲ス某氏ハ熱心ナル愛憐感化主義ノ歸依者ニシテ一時ハ監獄ノ吏員ハ盡ク僧侶即チ宗教社會ノ人物ヨリ採用スヘシトマテニ極端ノ議論ヲ主張シタルノ人ナリ故ニ獄制編成ノ當時一方ニ典獄服制論ヲ主唱シタル者アリシモ終ニ堅ク拒ミテ之ヲ容レス曰ク大僧正トモ謂フヘキ典獄其人ニシテ漫ニ威容ヲ裝フ所ノ軍服ヲ著ケ軍劍ヲ佩スルカ如キハ不當モ亦甚シト時勢一變迷夢全ク晴レテ監獄ハ嚴然タル規律節制ヲ必要トスルノ今日ト爲リテハ普國ニ於テヌラモ往來服制ノ必要ヲ唱道スルモノアリ司法大臣所轄ノ監獄制度ヲ新定スルニ當リ典獄服制ノ規定ヲ設ケタルハ蓋シ此新思想ノ勢力ノ然ラシメシ所ナリト云フ(下略)

我國今日ニ於ケル看守長及ヒ看守ノ服制ハ獨リ以テ外觀ノ威容ヲ莊嚴ナラシムルニ足ラサルノミナラス經濟其他風雪時變等ノ際ニ於テ實際上ノ不便亦尠少ニアラス殊ニ其體裁ニ於テ少クモ警察官吏ノ服制ニ遜色アルカ如キハ最モ

事體ノ宜ヲ得タルモノニアラス就中其帽制及ヒ劍制ノ如キハ大ニ之カ改正ヲ加フル所アルヲ要ス

看守長及ヒ看守ノ制服ハ禮服ト通常服ノ區別ナシ又看守制服ハ地質ノ制限ヲ置カス或ハ絨ヲ用フルモ或ハ小倉地ヲ用フルモ總テ各地方ノ便宜タルヘシ

看守長及ヒ看守ハ規程ニ依リ一定ノ禮式ヲ施行スルノ義務ヲ有ス即チ二十四年八月內務省訓令第十五號警察官吏禮式ニ準據スルモノトス典獄ハ禮式ヲ行フノ限ニ在ラス禮式ハ定制ノ服裝ヲ爲セル人ニ行フテ正例トシ單獨ノ禮式ハ服裝ノ如何ニ拘ラス上官タルコトヲ認知シタルトキハ成ルヘク之ヲ行フコトヲ要ス禮式ハ別チテ之ヲ最敬禮及ヒ敬禮ノ二種ト爲シ天皇皇后皇太子皇太子皇孫太孫皇太孫妃皇族ニ對シテ最敬禮ヲ行ヒ内閣總理大臣各省大臣正式勅使及ヒ上官ニ對シテハ敬禮ヲ行フモノトス

制服着用者ハ常ニ其姿勢ヲ嚴正謹肅ニ保持スルコトヲ要ス蓋シ姿勢ハ敬禮編隊回轉等凡テ紀律號令の動作ノ基礎ト爲ルヘキモノナルヲ以テナリ嚴正謹肅ハ自然ニ出テ決シテ故意窮屈ノ狀態ヲ呈スルカ如キコトアルヘカラス兩踵ハ

一線上ニ之ヲ接觸セシメ兩足ヲ以テ稍ヤ角度ヲ作ルマテ爪先ヲ平均ニ外部ヘ開カシメ膝部ヲ直伸シ腹部ハ正シク腰部ニ据ヘ胸部及ヒ體ノ上部ハ少シク前ヘ出シ左右ノ肩ハ平均ニ下ケ兩手ハ體ノ兩側ニ垂下シ兩掌ハ少シク外部ヘ開カシム頭ハ具直ニ伸ヘ顔ハ前ニ突出スヘカラス但シ餘リ引下ケテ前額ヲ眼ハ前面ヲ直視シ決シテ視線ヲ地上ニ注クカ如キコトアルヘカラス

看守長及ヒ看守ハ常ニ制服及ヒ其屬具ヲ清潔且ツ完整ニ保ツノ義務ヲ有ス不潔若クハ破綻ニ放擲スルカ如キコト蓋シ職務過失ノ一タルヲ免レズ

(四) 懲戒

監獄官吏職務上ノ過失ハ三十二年三月勅令第六十三號文官懲戒令ニ依リテ之ヲ處分ス懲戒ヲ受クヘキ場合ハ(一)職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ(二)職務ノ内外ヲ問ハス官職上ノ威嚴又ハ信用ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ是ナリ

懲戒ヲ分チテ免官減俸及ヒ隨責ノ三種ト爲ス(文官懲戒令第三條文官懲戒令ニ依リ免官ノ處分ヲ受ケタル者ハ其官職ヲ失ヒタル日ヨリ二年間官職ニ就クヲ

トヲ得ス其情重キ者ハ位記ヲ剝奪セラル(同第四條減俸ハ一月以上一年以下年俸月割額又ハ月俸ノ三分ノ一以下ヲ減スルモノトス同第五條)又官署長官ハ委任官ノ免官ハ懲戒委員會ノ議決ヲ具シ内閣總理大臣ヲ經テ本屬長官之ヲ奏請シ裁可ニ依リ之ヲ行ヒ其減俸及ヒ判任官ノ免官又ハ減俸ハ懲戒委員會ノ議決ニ依リテ本屬長官之ヲ行フモノトシ職責ハ本屬長官之ヲ專行スルモノトス

看守ノ懲罰ハ九年八月内務省達乙第九十二號巡查懲罰例ニ準據シテ之ヲ處分ス(十六年四月内務省乙第十七號達懲罰ヲ別テテ呵責罰金及ヒ免職トシ犯狀ノ職務ヲ耻カシムルニ係ルモノハ免職シ其他職務ノ規則ニ違背シ及ヒ怠慢失誤アル者ハ其情狀ヲ審案シ俸給一箇月百分一以上一箇月以下ノ罰金ヲ科シ輕キ者ハ呵責ニ止ム罰金ハ毎月ノ俸金ヲ控除シテ完納セシム但シ月俸ノ三分ノ一ヲ過クルコトヲ得ス(罰金未タ完納セザル中免職死亡等)又官物ヲ遺失及ヒ毀損シタル者ハ相當ノ罰金ヲ科シ尙ホ其代價ヲ賠償セシムルモノトス

第九節 精勤證書及ヒ休暇

看守行狀方正勤務勉勵事務熟達且ツ奉職滿三年以上ニ及フトキハ典獄ノ具狀ニ依リ地方長官審査ノ上之ニ精勤證書ヲ授與スルモノトス(典獄監ニ於テハ典獄之ヲ授精勤證書ハ唯リ名譽ヲ標置スルモノタルノミナラス之ヲ所有スル者退職後再任ヲ求ムルニ際シ無試験採用セララルノ特權ヲ有ス但シ官吏服務紀律ニ違背シ若クハ巡查懲罰例看守ニモ適用スルコト前述ノ如シニ依リ月俸一箇月百分ノ二十以上ノ罰金ヲ科セラレタル者及ヒ月俸百分ノ二十以下ノ罰金ト雖モ一年二回以上ニ及フ者並ニ奉職後刑法其他ノ法律規則ニ依リ處分ヲ受ケタル者ニハ假令前示ノ條件ヲ具備スト雖モ精勤證書ヲ授與スルコトヲ得サルモノトス精勤證書ヲ受ケタル後行狀修ラス或ハ懲戒處分ヲ受ケタルカ如キコトアルトキハ時宜ニ依リ直チニ之ヲ沒收セララルコトアルヘキナリ但シ過誤失領ニ依リ處分ヲ受ケタル後勤績精勤セシ者ニハ其處分ノ翌月ヨリ起算シ普通ノ要件ヲ具備スルニ至リテ該證書ヲ授與スルコトアルヘク又退職後ト雖モ禁

罰以上ノ刑ニ處セラレタルモノハ直チニ該證書ヲ沒收スルモノトシテ
監獄官吏暑中、父母祭日其他普通休暇ハ渾テ一般官吏ノ規定ト異ナル所ナシ但
シ看守ニ付テハ特ニ十八年七月内務省番外遠巡查看守休暇規則ノ規定アリテ
之ヲ適用スルモノトス即チ皆勤一箇年ニ及フ者ハ三週間、其半箇年ニ至ル者
ハ壹週間ノ慰勞休暇ヲ賜與スルコトヲ得但シ休暇日數ハ數年ニ通算シテ併與
スルヲ得ス又非番、父母祭日、忌引及ヒ職務上負傷者患傷者之類ニ依テ
職務上負傷者ノ例ニ準スハ缺勤ハ缺勤日數ニ算入セザルモノトス

第十一章 監督權ノ所在

第一節 最上監督權ノ所在

監獄則第二條ニ曰ク

監獄ハ司法大臣ノ監督ニ屬ス
本條ハ即チ我國ニ於ケル監獄最上監督權ノ所在ヲ規定シタルモノトス蓋シ監
獄ハ司法當然ノ事務トシテ司法大臣ノ所轄ニ屬スヘキモノナルヤ又ハ純然タ

ル行政事務トシテ内務大臣ノ所轄ニ屬スヘキモノナルヤ將タ行政司法ノ混合
事務トシテ内務司法ノ兩部ニ分屬若クハ或特種ノ監督官署ニ專屬スヘキモノ
ナルヤノ問題ニ付テハ歐洲諸國ニ於テモ一時ハ盛ニ區區ノ討議ヲ盡シタル所
アリシモノノ如ク現ニ今日ニ在リテモ或ハ監獄ヲ以テ司法大臣ノ監督ニ屬セ
シムルモノアリ或ハ内務大臣ノ管轄ニ屬セシムルモノアリ或ハ幾分ヲ内務省
ニ屬シ幾分ヲ司法省ニ屬セシムルモノ分轄法ヲ費用スルモノアリ即チ佛國、英國
露國、伊太利等ニ於テハ内務大臣ノ所轄ニ屬シ瑞典、蘭白耳義及ヒ奧太利ニ於
テハ司法大臣之ヲ管轄シ普國ニ在リテハ管轄權ノ所在未タ全國ヲ通シテ一定
スルニ至ラス其間ノ境界頗ル曖昧模稜タルヲ免レス之ヲ要スルニ獄制ノ統一
ヲ計ルハ治獄上ノ最緊要務タリ既ニ統一ノ必要ナル以上ハ其最上監督權ノ一
手ニ歸結セシムル所アルヲ要スルハ論ヲ俟タス我監獄則ニ於テ監獄ハ陸海軍
ニ屬スルモノヲ除ク監獄則第五二條ノ外渾テ統一的内務大臣ノ管轄ニ專屬セ
シメタリシカ今年四月勅令第七十二號ヲ以テ全然司法大臣ノ管轄ニ屬セシ
メタリ然レトモ予ハ素ト監獄最上監督權ヲ内務省ニ屬セシムルコトノ必スシ

モ不當ナラナルヲ信シ左ノ如ク論シタルコトアリ今左ニ其全文ヲ掲ケテ讀者
 ノ參考ニ供ス
 監獄ハ内務省ノ管理ニ屬スヘキモノナリヤ將タ司法省ノ所轄ニ屬スヘキモ
 ノナリヤノ問題ニ付テハ十數年前即チ監獄改良著手ノ際ニ當リ間、學者政
 治家ノ間ニ區區ノ議論アルヲ見ル所ナリシカ今日ニ於テハ此問題ノ如キハ
 左マテ重要ナルモノニアラストシテ復タ一人ノ之ヲ願ル者ナキカ如シ尤モ
 彼ノ一部ハ内務省ニ屬シ一部ハ司法省ニ屬スト謂フカ如キ不都合ナル組織
 ノ行ハレツツアル獨逸等ノ國ニ在リテハ監獄改良上管理權ノ統一ヲ期スル
 ノ必要ヨリ或ハ時トシテ兩派各其所見ヲ固執シテ相論爭スルモノアルヲ見
 ル蓋シ要ハ唯管理權ノ統一ヲ期スルノ一點ニ在リテ其所在ノ内務省ナルト
 司法省ナルトハ實際強テ關係ナキモノノ如ク縱令多少便否ノ關係之アルニ
 モセヨ現ニ統一的内務省ニ屬シツツアルモノヲ司法省ニ移シ又ハ司法省
 ニ屬シツツアルモノヲ内務省ニ移スマツテ強テ制度ノ變更ヲ爲スヘキ程ノ
 必要ナキコトハ有識者ノ確認シテ疑ハサル所ナリ然リト雖モ若シ此ニ絶對

的ニ監獄ハ内務ニ屬スヘキヤ將タ司法ニ屬スヘキヤノ問題ヲ提出シテ其答
 辨ヲ求ムルニ於テハ監獄ハ理論上及ヒ實際上内務省ノ最上監管權ノ下ニ屬
 セシムルヲ以テ當然且ツ便利ナリト答フルニ躊躇セザルナリ予嘗テ言ヘル
 コトアリ曰ク監獄改良ノ今日ニ於テ前世紀ノ紀念物トシテ保存セラルルモ
 ノハ彼ノ司法監督權ノ下ニ監獄ヲ管理スルノ制度即チ是ナリト實ニ彼ノ司
 法省所轄ノ制度ハ前世紀ノ遺物ナリ改良ニ適セサルノ制度ナリ早晚改正ノ
 必要ヲ見ルニ至ルヘキ不完全ノ組織ナリト斷言セザルヲ得ス
 刑法及ヒ監獄沿革ノ史乘ヲ閱スル者ハ必ス知ラン往古ニ在リテハ刑獄ト聽
 訟トハ殆ト同一ノ意義ヲ有シ罪囚ヲ拘禁スルノ場所ハ一ニ聽訟斷獄可即チ
 司法官ノ管掌ニ屬セシメタルコト各國皆其概ヲ同シウセザルハナキコトヲ蓋
 シ往昔制度簡樸ノ世ニ在リテハ聽訟等ノ事亦今日ノ如ク繁密ナラス囚徒ノ
 如キモ少數ニシテ其少數ノ囚徒ハ總テ未決審判中ノモノニ係リ罪決スレバ
 即チ笞杖入墨放逐徒流贖死刑等生命身體及ヒ財產ニ對スル簡單ナル刑ヲ
 執行シテ之ヲ獄外ニ放遺スルニ過キナリシカ故ニ監獄ヲ以テ之ヲ司法官管

轄ノ下ニ屬セシムルモ左マテ不都合アラサリシノモナラズ實際ニ於テハ却テ便益ヲ感スル所ノ制度タリシナリ然ルニ時勢ノ變遷ハ漸ク法制組織ノ複雜ナルヲ致シ法網密ナルニ隨ヒテ罪囚モ亦次第ニ其數ヲ加ヘ殊ニ一タヒ刑法ニ於テ自由刑ナル新刑ヲ制定シ大ニ其施行ノ領域ヲ擴充シタルヨリ以來治獄ノ事今日ニ於テハ復タ昔日ノ如ク簡略單純ナル能ハス單ニ罪囚ノ身體ヲ監禁スルニ過キナリシ場所モ今ハ監禁ノ外向ホ多數ノ囚徒ニ對シテ長期間自由刑奉ノ刑ヲ執行セサルヘカシタルニ至リ管ヲ腦力ヲ費サスシテ管掌スルコトヲ得シモノモ今日ニ在リテハ行刑專門ノ知識ヲ具備シタル者ニアラサレハ則チ能ク之ヲ操縦スル能ハス且ツ發達シタル近世國法學ノ定論ニ據リ行政事務ト司法事務トハ成ルヘク之ヲ劃別スルノ必要ヲ認メタルヲ以テ彼ノ純然タル行政事務 (Verwaltungs) ニ屬スヘキ監獄事務ヲハ行政官廳即チ內務省所轄ノ下ニ歸セシムヘキハ實際ニ便且ツ道理ニ適スルコト分明ナルニ至レリ歐洲諸國中自耳義和蘭瑞典奧地利等ノ諸國ニ於テ向ホ司法省所轄ノ舊制度ヲ襲用シテ改正セサル所以ノモノハ一ハ自耳義和蘭瑞典ノ如

キ英國域ノ小ナルカ爲メニ左マテ改正ノ必要ヲ感セサルト一ハ奧地利ノ如キ獄務改良ニ對シ割合ニ熱心ナラサルカ爲メニ原由シ且ツ前段ニモ述ヘタル如ク今日ト爲リテハ既ニ獄務諸般ノ事稍々完全ノ域ニ達シタルヲ以テ差向改メテ內務省ニ轉屬セシムルノ必要モアラサルカ故ニ所轄ノ何レニ屬スルカハ復タ深ク顧ル所アラサルニ由ルモノノ如シ我國ニ於テハ嘗テ監獄ヲ以テ刑部省大實律檢非違復(天長時代以降六波羅ノ廳貞永式目代官町奉行(德川時代刑部省明治三年司法省明治四年等即チ當時ノ司法官廳ニ全屬若クハ分屬セシメタルモノヲ改メ明治九年ニ至リ全然內務省所轄ノ下ニ轉屬シ次テ明治十四年發布ノ監獄則ニ於テ明文ヲ以テ陸海軍ノ管轄ニ屬スルモノノ外監獄ハ總テ內務卿ノ管轄ニ屬スルモノタルコトヲ規定スルニ至レリ(監獄則第二條監獄制度ノ改良ニ適應シタル英斷ノ措散ナリト謂フヘシ此改正ハ如何ニ近世國法學ノ旨義ニ適シタルモノナリヤ如何ニ監獄改良上ニ利益ヲ與ヘタルモノナリヤ又如何ニ將來此改良事業ノ上ニ便宜ヲ與フヘキモノナルヤハ必スシモ識者ヲ俟テ後ニ之ヲ知ラサルナリ謹カ今日ニ當リ再ヒ可

法省所轄ノ舊制ニ逆回シ敢テ監獄制度ノ改良進歩ヲ障害セント試ムル者ノ是レ固ヨリ齒牙ニ掛クルノ價直ナシト雖モ身斯ノ事業ニ從事スル者豈一言辨スル所ナカルヘケンヤ

予輩固ヨリ三權鼎立ノ舊主義ヲ主唱セント欲スル者ニアラス然レトモ國法既ニ行政司法各其管掌スル所ノ官署ヲ創立シタル以上ハ行政權ヲ以テ成ルヘク司法權ヲ侵犯セシメザルト同時ニ司法部ヲシテ行政干涉ノ區域ヲ成ルヘク制限セシムルコト亦甚タ必要ナリ若シ監獄事務ヲシテ之ヲ司法省管轄ノ下ニ屬セシメンカ司法省ニ於テハ此事務ノ爲メ特ニ一ノ行政部局ヲ設ケスンハアルヘカラス何トナレハ司法官ヲシテ此事務ヲ管理セシメンコトハ實際ニ於テ爲シ能フヘキコトニアラサルヲ以テナリ既ニ司法省ニ於テ特別ノ部局ヲ設ケテ之ヲ管理スル以上ハ此點ニ於テモ監獄事務ハ最早狹義ノ司法事項 (Judicial) ニアラスシテ司法部内ニ於ケル行政事務ナルコト知ルヘキナリ況ヤ監獄事務ハ其性質ニ於テ初ヨリ行政事項ニ屬スヘキモノナルニ於テフヤ之ヲ行政總括ノ職權アル内務大臣管轄ノ下ニ屬セシムルハ事理

ハ最モ明白ナルモノニアラスヤ

或ハ裁判ト行刑トハ合一ヲ要ストノ前提ヨリ司法官ト監獄官トハ同一人物ナルヲ要ストノ意見ヲ抱ク者アリト雖モ是レ實際爲シ能フヘカラサルノ空想ニシテ却テ司法ノ嚴正確實ヲ紊亂スルモノト謂フヘキナリ縱令假ニ司法官ヲシテ監獄事務ヲ管掌セシムルコトヲ得ルトスルモ各司法官カ其獨立ノ資格ヲ以テ議決シタル所ノ事件ニ對シ一之カ執行ニ任セシメ能ハサルヘキヲ以テ到底司法官ト監獄官トハ同一人物ナルヲ要ストノ旨義ハ之ヲ貫徹シ得ヘキニアラサルナリ或ハ又檢察官ヲシテ監獄事務ヲ管掌セシムルコト彼ノ輿地利ノ如クナラシムヘシト曰フ者アリ然ルニ是レ恰モ爭訟ノ敵手ヲシテ事件ノ結末ヲ著クシムルニ同シク雷ニ法理ニ適セサルノミナラス實際亦行刑ノ公正ヲ期スルノ途ニアラサルナリ此ノ如ク既ニ監獄事務ヲ以テ之ヲ司法官ニモ亦檢察官ニモ兩ナカラ管掌セシムヘキモノニアラストセハ司法省ニ於テ之ヲ統轄セシムルノ必要ハ殆ト一モ之ヲ見出スコト能ハサルナ

論者曰ク監獄ヲ内務省ノ監督ニ屬セムルトキハ刑ノ原告者ト刑ノ執行者トノ間互ニ連絡ナキカ爲メ刑ノ目的ヲ達スル能ハスト(法學新報第八號石渡法學士稿監獄論參照)予ヲ以テ之ヲ觀レハ是レ實ニ杞憂ノ言タルニ過キザルノモ若シ果シテ宣告ト執行ト連絡相通セサルカ如キコトアリトセンカ是レ監獄ノ内務省監督ノ下ニ屬スルカ爲メニアラスシテ執行官其人ヲ得タルニ因ル苟モ執行官ニシテ其人ヲ得サルトキハ縱令司法省ニ於テ之ヲ監督スルモ其結果ハ即チ同シク連絡相通セサルニ終ランノミ單ニ司法省ニ屬セタルノミノ故ヲ以テ宣告ト執行ト忽チ相連絡スルヲ期シ得ヘシトハ思惟スルコト能ハサルナリ論者又曰ク監獄官ハ裁判官カ刑ノ宣告ヲ爲シタル真意ハ那邊ニ在リテ存スルヤヲ知ラス唯何年何箇月ノ刑ニ處ストノ宣告文ヲ見其日時間被告(人?)ヲ獄舎ノ内ニ繋留シ或ハ勞役ヲ取ラシムルニ過キス現今ノ如キニ制度相分離セル有様ニテハ到底彼ノ犯罪撲滅ノ目的ヲ以テ刑ヲ宣告セザルヲ執行スルカ如キハ望ムヘカラサルナリ云云ト嗚呼論者ハ刑ノ宣告ヲ爲シタル真意ヲモ辨ヘスシテ能ク監獄官タル職任ヲ盡シ得ヘシト信スルカ行刑

校外生規則摘要

- 一 講義録ハ毎月二回發行シ滿一今年ヲ以テ卒業トス
- 一 講義録ハ之ヲ三部ニ分ツ其發行定日左ノ如シ
 - 第一部 毎月 五日 二十日
 - 第二部 毎月 十日 廿五日
 - 第三部 毎月 十五日 三十日
- 一 月謝金ハ全部査閱、各一部四十錢トス但シ入學金ヲ要セス
- 一 校外生ハ本校講談會、討論會ニ出席傍聽スルコト及ヒ本校ノ出版ニ係ル書籍雜誌ハ特別ノ廉價ヲ以テ購求スルコトヲ得
- 一 校外生全部卒業證書ヲ有スル者ハ試験ノ上校內生三年級ニ編入セラルルコトヲ得
- 一 校外生ハ講義録中ノ疑義ニ付キ質問スルコトヲ得
- 一 但シ返信用郵券ヲ封入スルコトヲ要ス
- 一 三ヶ月以上月謝不納ノ者ハ退學者ト看做ス
- 一 月謝ハ東京飯田町郵便支局拂和佛法律學校會計係トスヘシ

明治廿二年十二月九日內務省許可

明治三十三年十一月廿六日印刷
明治三十三年十一月三十日發行

編輯者 小田幹治郎
發行所 東京市芝區四ノ久保町光町十一番地

印刷者 金子鐵五郎
印刷所 金子活版所
東京市芝區四ノ久保町光町十一番地

發行所 司法省
指定 和佛法律學校
東京市麹町區富士見町六丁目十六番地

(電話番町百七十四番)